

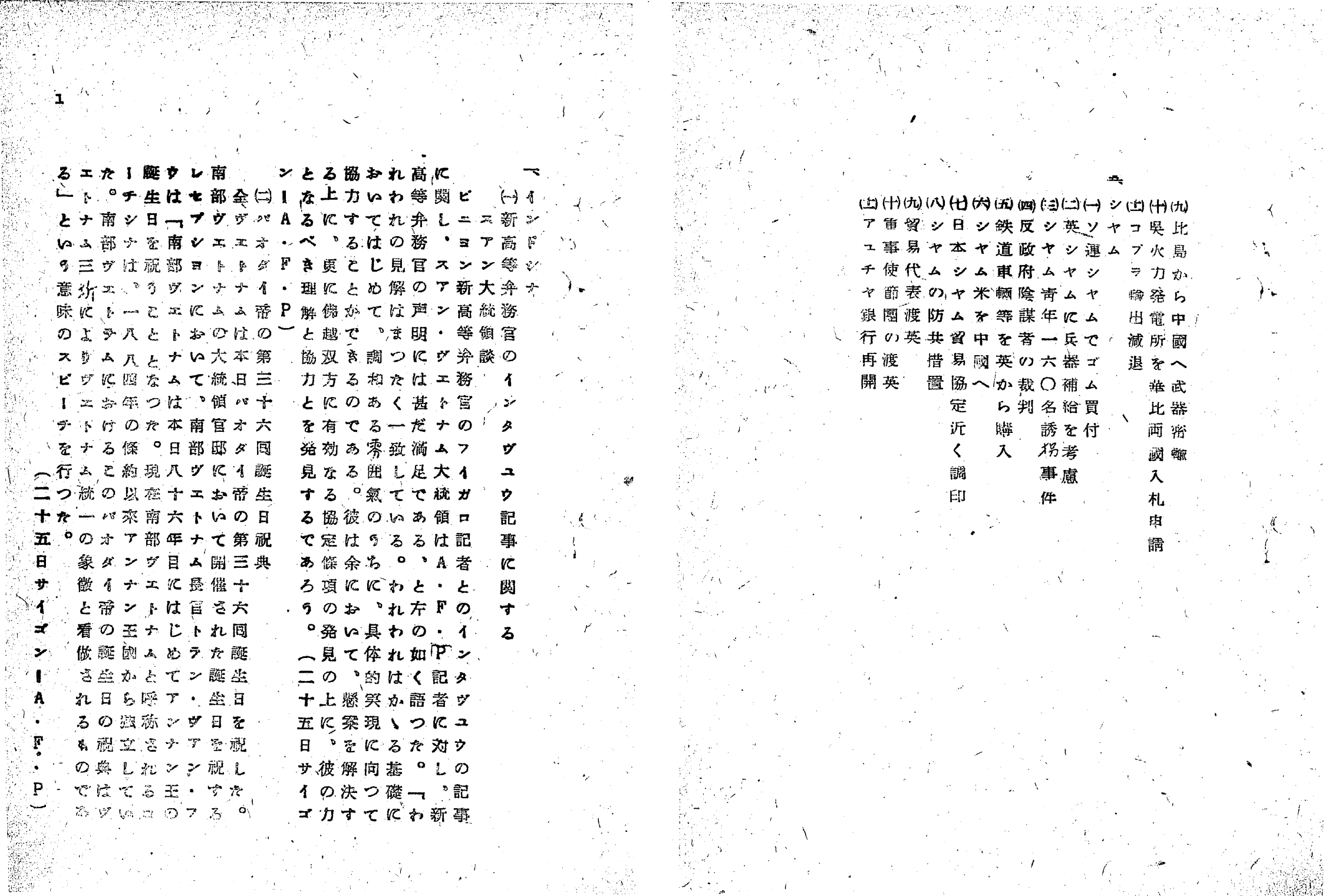
動している。  
 元首相を捜査  
 シンガポールは二十日全国にわたり元首相ブリディの捜査命  
 令を発した。  
 プリディは前國王増設谷疑をもつて逮捕状が発出されている。  
 (十六日シンカポールAP)  
 (二十日ブラザビルR)

昭和二十三年十一月一日

南方地域旬報 第三十五号 (十月下旬)

調査局第五課





一  
 る。エ。た。一。庭。サ。レ。南。全。ン。と。る。協。お。れ。高。に  
 一。ト。ナ。ム。三。ウ。シ。生。ハ。セ。部。金。I。A。F。P。上。力。い。わ。等。に  
 の。意。味。の。ス。ピ。ー。チ。を。行。つ。た。の。象。徴。と。看。做。さ。れ。る。の。で。あ。る。  
 (二十五日サイモンI.A.F.P.)  
 一。ト。ナ。ム。三。ウ。シ。生。ハ。セ。部。金。I。A。F。P。上。力。い。わ。等。に  
 の。意。味。の。ス。ピ。ー。チ。を。行。つ。た。の。象。徴。と。看。做。さ。れ。る。の。で。あ。る。  
 (二十五日サイモンI.A.F.P.)  
 一。ト。ナ。ム。三。ウ。シ。生。ハ。セ。部。金。I。A。F。P。上。力。い。わ。等。に  
 の。意。味。の。ス。ピ。ー。チ。を。行。つ。た。の。象。徴。と。看。做。さ。れ。る。の。で。あ。る。  
 (二十五日サイモンI.A.F.P.)

- (一) シンヤム
- (二) シンヤムに兵器補給を考慮
- (三) 英政府の裁判
- (四) 英政府陰謀者の裁判
- (五) 英政府の裁判
- (六) シンヤムと英政府の協定
- (七) シンヤムと英政府の協定
- (八) シンヤムと英政府の協定
- (九) シンヤムと英政府の協定
- (十) シンヤムと英政府の協定



佛印政廳外交顧問著任  
佛印高等弁務官政治顧問ロベール・デュガルディエは今朝サイ  
ロンに著任した。ロベール・デュガルディエは全権公使の地位と  
特権を附與されている。

(二十五日サイゴンI.A.F.P.)  
バオダイ前アンナン帝は昨日パリにおいてクランス大統領ヴァ  
ンサン・オリーリオル大統領に会見した。(二十六日デリイ放送)

新高等弁務官の新任挨拶電報  
ビニオン新高等弁務官はヴェトナム臨時中央政府の大統領にあ  
てて「佛越兩國人間の友情と信頼の關係を増進するために、何物  
をも惜しなさい」と電報した。

(二十八日サイゴンI.A.F.P.)  
内ホチミン大統領辞任の風評を否定  
ヴェトナム共和国大統領ホチミンはつぎの如き声明を放送した  
すなわち或る外國新聞がホチミン・ヴェトナム共和国大統領に電  
報を送り、右派の流布した風評の眞否を質した。右風評によると  
ホチミン大統領は辞任した。ホチミン共和国政府最高顧問に就任  
するであるといふのである。ホチミン大統領はこれに答えて、  
かゝる風評を流布することは植民帝國主義者達の常套手段である  
と言明し、「余は同胞に信託された職責をあくまで遂行し、わが

國の独立と統一のため最後まで闘う決心である」と結論した。  
(二十九日モスコウ放送)





の東に於けるオランダと總司令部代表との通商會議の結果、この  
 上ノシヤを含む一と日本との間に今後一五年間約九〇〇万ドル  
 上ノシヤを含む一と日本との間に今後一五年間約九〇〇万ドル  
 (二十九日、渉外局発表)

計一億二〇〇〇万ドルを行つてゐるが、その主なるものは、  
 一億二〇〇〇万ドルを行つてゐるが、その主なるものは、  
 一億二〇〇〇万ドルを行つてゐるが、その主なるものは、

この米は特に中部ジャワの共和地帯に必要である。同地帯の大  
 量の米は特に中部ジャワの共和地帯に必要である。同地帯の大  
 量の米は特に中部ジャワの共和地帯に必要である。同地帯の大

(一) 共和地帯の米不足  
 共和地帯の米不足  
 共和地帯の米不足

経済關係  
 共和地帯の米不足  
 共和地帯の米不足

の情勢悪化の結果二十八日、バタヴィアへ出発する。彼は十日間  
 である。二十八日、バタヴィアへ出発する。彼は十日間  
 である。二十八日、バタヴィアへ出発する。彼は十日間

オランダ議会は諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足  
 諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足  
 諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足

オランダ議会は諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足  
 諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足  
 諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足

オランダ議会は諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足  
 諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足  
 諮議院法を可決した。なほ共和地帯の米不足



三、マライ共産党本部一せいの検査  
は、六月に極めて大なる多数のテロ  
は、六月に極めて大なる多数のテロ

(二) 赤化テロの被害  
六月以降テロの被害左の通り  
殺害されたもの中国一六九名、マライ人二五名、歐州人一七  
名を含む二三三名。又共匪の逮捕されたものは中国人を主とする  
四三〇名に達した。

(三) 反共弾止は労組から支持さる  
目下、英中のマクドナルド東部、シ、弁務官は二十六日、マライ  
当局の反共強硬措置は労組側から全面的の支持を受けていると語  
つた。

(二十六日ロンドンBBC)  
マライ赤化暴動と中 國人  
二十六日マクドナルド弁務官はマライの暴動はアシア民族運動  
たとの説を台定して、運動はマライ人を含まず。凡て中国人によ  
つて計画されている。六月以來殺されたテロ 國員は大部分中国人

て中共党員は主としてマライ生れのものでなく、新しく輸入して  
来たものである。

一般のマライ華僑は全部政府の措置を支持していると語つた。  
(二十七日南京B)  
マライ赤化暴動  
マライ赤化暴動の被害  
マライ赤化暴動の被害

(三十一日ロンドンBBC)





来合法化された。一九三二年非合法化された。指導者は我獄されたがケソン大統領は一九三七年無条件で釈放しその翌年現共産党は社会党を包含して現在の党を樹立しケソン大統領はこれを承認したものである。

(二十二日マニラ) 日本船舶保有に關する比島の態度を明かにすることを求められた。二十五日マニラ) 比島米穀対策を強化し米穀局を設け情報に依れば比島の米不足を救済するため近く米穀局が設置されれば全島米穀局をこれに吸収することとなる。

(二十五日マニラ) 世界銀行比島の借款を承認し、又エリサルは世界銀行に對し水力電氣開及肥料施設建設費として八十万ドルの借款を申入れたが翌日二十日以内に承認されるであろうと見られる。(二十五日マニラ) 対比島支出の増額を通告し、又エリサルは米穀輸送委員会委員長は比島に對する輸送支出の増額を通告し、又エリサルは大使が水力電氣開及肥料施設建設費に關し世界銀行より公約を得て近くマニラに

(一)比島の砂糖生産 一九四七、四八年度の比島砂糖生産は三九八、一五〇シヨートンに達した旨、比島砂糖協会から発表された。(二十日マニラ)

(二)比島は自動車等の輸入制限か 比島輸入管理委員会は一九四九年における奢侈品の輸入制限に關する予備討議を行つていゝといわれるが、提案中には、自動車、石油、アルコール飲料の五〇%削減が含まれている。(二十一日マニラ)

(三)比島上院議員米國政京に賛成 比島上院議員はロイマに於ける副議長フロスト、ペロ、サエダツト上院議員はロイマに於ける副議長フロストからの帰途、ロスマンゼルスに於いて次の如く記者團に語つた。

アメリカが日本をソ連との緩衝國としようとする方針に比島も承認の外ない。(マツ) タア、サー、將軍の日比間貿易再開案を米國は日本を専断的條件のない経済的に再建しようとしていゝが、同様アイリツピンとして異議はない。(二十二日、ロスアンゼルス、A.P.)

(四)比島共産党は合法的 比島共産党書記長はアイリツピン共産党は一九三七年以





商務大臣の言明によれば十一月月中旬シム貿易代表が渡英の予定である。同代表は英側の招待に應じたものであり、英側はシムを招いた。シムは最新式武器の供給方を考慮中であるという。貿易局長タヴィルは「三十一日バンコックA.P.P.」の訪

華局の+定  
 (三) 武器受取のため近シムに供給することを英の予定である。  
 (四) シム軍使節團の渡英を説明し、シムに供給することを英の予定である。  
 (五) シム軍使節團の渡英を説明し、シムに供給することを英の予定である。

銀行の再行  
 (三) 銀行の再行は直後閉鎖を命ぜられたバンコックの有力  
 (四) 銀行の再行は直後閉鎖を命ぜられたバンコックの有力

銀行の再行  
 (三) 銀行の再行は直後閉鎖を命ぜられたバンコックの有力  
 (四) 銀行の再行は直後閉鎖を命ぜられたバンコックの有力

わリテイ元... (二) 六日シムガポールR  
 (三) 六日シムガポールR  
 (四) 六日シムガポールR  
 (五) 六日シムガポールR  
 (六) 六日シムガポールR  
 (七) 六日シムガポールR  
 (八) 六日シムガポールR  
 (九) 六日シムガポールR  
 (十) 六日シムガポールR

米の支出を承認した。右支出金は三百五十二万ドルをもつて  
 (二) 六日シムガポールR  
 (三) 六日シムガポールR  
 (四) 六日シムガポールR  
 (五) 六日シムガポールR  
 (六) 六日シムガポールR  
 (七) 六日シムガポールR  
 (八) 六日シムガポールR  
 (九) 六日シムガポールR  
 (十) 六日シムガポールR

米の支出を承認した。右支出金は三百五十二万ドルをもつて  
 (二) 六日シムガポールR  
 (三) 六日シムガポールR  
 (四) 六日シムガポールR  
 (五) 六日シムガポールR  
 (六) 六日シムガポールR  
 (七) 六日シムガポールR  
 (八) 六日シムガポールR  
 (九) 六日シムガポールR  
 (十) 六日シムガポールR

昭和二十三年十一月十日

南方地域旬報 第三十六号 (十一月上旬)

調査局 第五課

文書  
記録  
簿

- (一) ビニオン新高等弁務官の談話
- (二) アメリカの「墓調査隊」北部佛印に到着
- (三) ヴェトナムの二大都市奪取
- (四) 北部佛印の二大都市奪取に際してのスアン大統領の声明
- (五) 新高等弁務官の任命
- (六) 海軍大臣重徳の行進
- (七) 戦死の追悼
- (八) オランダ代表ジャワの共産党につき語る
- (九) ムソウ戦死す
- (十) オランダ外相到着
- (十一) シヤハル情勢を語る
- (十二) スヤハル情勢を語る
- (十三) 共和政界交渉再解に反対
- (十四) 総選挙準備委員会に反対
- (十五) アメリカ刑罰の開始
- (十六) ステファン刑罰の開始
- (十七) 共和政界交渉再解に反対
- (十八) 共和政界交渉再解に反対
- (十九) 共和政界交渉再解に反対
- (二十) 共和政界交渉再解に反対
- (二十一) 共和政界交渉再解に反対
- (二十二) 共和政界交渉再解に反対
- (二十三) 共和政界交渉再解に反対
- (二十四) 共和政界交渉再解に反対
- (二十五) 共和政界交渉再解に反対
- (二十六) 共和政界交渉再解に反対
- (二十七) 共和政界交渉再解に反対
- (二十八) 共和政界交渉再解に反対
- (二十九) 共和政界交渉再解に反対
- (三十) 共和政界交渉再解に反対

(五) 西ジャワ國および東インドネシア國議會の反政府態度  
 (四) 共和國議會の動向  
 (三) ベトナム全軍に援助を要請  
 (二) ステッカー活劇  
 (一) 情報悪化の分利  
 (六) 中野スマトラの分割  
 (五) ムルバ党完全独立を主張  
 (四) 蘭軍交戦  
 (三) シヤフデイン共産軍を指揮中  
 (二) バクスタン親善使節共相國首都へ  
 (一) インドネシア側の新提案  
 (二) オーストラリア首相の議会演説  
 (三) オランダ監視船射撃を否定  
 (四) アリミンの処刑を否定  
 (五) 蘭本國向出発  
 (六) 蘭イ交渉有望化す  
 (七) 蘭スツカカ外相出発  
 (八) 蘭印借款協定に調印  
 (九) 主要食糧品最高價格の公定

(一) 共産党労働運動を利用  
 (二) マライ情勢改善  
 (三) 英人惨殺さる  
 (四) ソ連のマライ、ゴム買付  
 (五) 警官惨殺さる  
 (六) フイリッピン  
 (七) 比島軍義勇隊員を吸収  
 (八) 比島補助は比島の生産を促進せん  
 (九) 比島の奢侈品禁輸影響  
 (一〇) フイ島の二都市を略奪  
 (一一) 比島駐比大使辭職  
 (一二) 比島駐日首席代表入京  
 (一三) 比島駐日代表談話  
 (一四) シヤム領土の対シヤム關心  
 (一五) 政党内閣の逮捕さる  
 (一六) 日本、シヤム間貿易  
 (一七) シヤム、シヤム間貿易  
 (一八) F.A.O. 極東事務局をバンコックに

RA'-0262

0215



(内)英より武器購入  
 (出)シヤム外務省予算  
 (四)反政府運動者逮捕  
 (九)南安人避難取扱  
 (十)シヤム米輸出政策  
 (四)ビシヤム政府の反共措置

(一)インドシナ  
 余の目的は平和の恢復である。余はアンナン人の常識、嗜好が  
 漁業、米作、林業等の平和的を仕事に立ち向う日が必ず到来する  
 ことを信じて疑わぬ。とピニヨン新高等弁務官はサイゴン日  
 刊紙「ボピユレール」の特派員に語つた。ピニヨン高等弁務官  
 はさらに「ヴェトナムがフランスに與へたと同様なほど多くを  
 フランスもヴェトナムに與へた」と付け加へた。

(四)サイゴンI.A.F.P.  
 (一)アメリカの「墓調査隊」北部佛印に到着  
 ハインマン中尉に率いられたアメリカの「墓調査隊」がニラカ  
 らサイゴン經由ハイフオンに到着した。同隊の目的は第二次大戦  
 中北部佛印に於て死亡したアメリカ兵士1主としてアメリカの飛  
 行士の遺跡を捜索しその遺骨、遺品等をアメリカに持ち帰るた  
 めである。使命完了次第「墓調査隊」はサイゴンに向つて出発す  
 る予定である。

(二)ヴェトナム二將領負傷  
 確かなる消息筋によれば南部ヴェトナム(コーチシナ)抗聯軍  
 司令官ヌエン・ピンは去る十月十九日の戦闘に於て大腿部に二弾  
 を受け負傷した。他のヴェトナム軍將領オアン・トオも重傷を負  
 つたと伝えられてゐる。オアン・トオは一九四七年四月二十四日  
 のサイゴンI.M.T.コンヴオイ)に對する攻撃の指揮者で、同戦

RA'-0262

0217

閣においてはなお南部ヴェトナム（コーチン）臨時政府の二閣僚がその犠牲になつて倒れた。（五日サイゴン）

フランス当局は十一月七日ハノイの西北方三十五軒及び七十軒の地点にあるトンキン軍一ホチミンの主要都市であるソンタイ及びヴィエトリアがヴェトナム軍に占領された。フランス軍の手から奪取された。何等の抵抗を受けることなく取り戻された。ヴェトナム軍は踏み止まつていた。ス軍の入市も同日空輸部隊と紅河船隊及び堤防沿いに進軍した。陸上部隊の共同作戦により取り戻された。グイエトミンの死者を遺棄した。グイエトミン側は北の損害及び捕獲武器等は未だ計算されてはいない。グイエトミンは小型の土人船が捕獲された。軍当局談によれば多数のジャンクや小艇の土人船が捕獲された。軍当の経済及び食料補給の見地より重大な損失である。グイエトミンは紅河流域の豊饒地に位置するが、グイエトミン軍の退却した。山嶽地帯の瘦地である。（九日サイゴン）

（四）新高等弁務官任命に際してのスタン大統領の声明

者に與えた声明に於いて「ビニオン新高等弁務官の到着はグイエト帝は既に意見一致に到達したことを希望せしめるものである。」と語つた。

さらばスタン大統領は「余はビニオンとともにアロン湾協定に田來しグイエトナムに國內主権を與ふる細目事項を解決し得るであらう。」ことを期待すると語つた。

かかる諸問題中の一つとしてスタン大統領はコーチン十三州における裁判権のグイエトナム移譲の問題を挙げてゐる。かかる裁判権に關する協定はフランス議会の承認を要する。なおグイエトナム三州の一方たるホイチンナは法的には依然フランスの領土である。「裁判権の問題が解決すれば他の諸問題も容易に解決するであろう。」と「また」國內及び國際防衛上戦略的長点たる南部アササン沿岸のカムラシ湾に關しては、この基地が共同防衛のためフランスの自田に任かすよりこの地に設ける協定が締結されるであろう。」と語つた。（十日サイゴン）

今朝サイゴンに於いて数千のフランス人及びグイエトナム人の民衆の第一次大戦休戦記念日行進が行われた。右行進は市の休戦記念



念碑の前記念儀式等行の後引續いて行われた。行進には佛越歩  
 兵隊及び武装軍隊も参加した。(十一日サイゴン、A、F、E)  
 (出阮海軍重艦)  
 目下中朝に亡命中の元ヴェトナム独立同盟(ヴェトナム)領袖  
 ニュエン、ハイ、タン、(阮海軍)は重懸と傳えられてゐる。ユ  
 エン、ハイ、タンはヴェトナム共和独立当時副大統領になつた  
 が、その後ホチミン大統領がヴェトナム幹部より共産主義者に非  
 ざる独立主義者を懸賞せるとして中朝に逃避した。  
 (在、同人は親華論者、バオダイ帝の出馬を希望していた一人、  
 將來ヴェトナム國家建設のための礎石を積み上げていた有力  
 者)(十一日、ハノイ、A、F、E)

インドネシア國連代表フアン・ロイエンは記者に対しジャ  
 (一)オランダの國連代表フアン・ロイエンは記者に対しジャ  
 オランダの國連代表フアン・ロイエンは記者に対しジャ  
 マデラ島の奪回にもかゝらぬ共産党は今なお國內の各  
 地域を占拠してゐる。中国における共産党の勝利は、インドネシ  
 アおよび東南アジア地域に新しい暴動の勃発を導くおそれがある。

(二)ムソ戦死す  
 一日、アンタラ通信の報ずるところによれば、共産党指導者ム  
 ソは、最近の東部ジャワ、ボノコロ附近の小戦闘において戦死し  
 た。マデラの市民によりて確認されたと言明した。(シンガポールラヂオ)

(三)オランダ外相は十月三十一日、パタヴィアに到着、十二月一  
 スラワヤ外相と討議を開始した。同外相は、獨イ会谈再開の  
 日よりハッタ首相と討論を協定した。全面的遵守を主張するものと  
 条件として、レンヴィル休戦協定の全面的遵守を主張するものと  
 予想されてゐる。(一日、シンガポールラヂオ)  
 門シャハル情勢を語る  
 大統領顧問シャハルは現地の中國紙新報の記者に対し次の通  
 り語つた。



もしハッタ首相がステッカー外相との会談に失敗すれば、この問題を解決できる人は他にない。オランダ側は第一に中間政府の樹立を主張し、他方共和国側は第一に憲法会議の設置を主張する。と進める問題の困難がある。オランダが軍事行動を起しても全ジヤワを占領することは不可能である。またスマトラにおいても同様である。(二日、バタヴィア、ネタ)

(五) ステッカー情勢を語る

バタヴィア訪問中のステッカー外相は次の通り語つた。

通達を出すと、この情勢は極めて重大である。しかし共和国に最後否やお来るべき交渉失敗の場合、オランダ側が軍事行動をとるや題に介入する権限はないものと考へる旨強調した。

(二日、シドニーラヂオ)

(六) 共和国政界交渉再開に反対

共和政界は「共和内外の状況を悪化させるような条件」に始ると、各政界の再開に反対している。マシユミ党は会談開始前に各政界と政府の円卓会議の開催を提案したが、ハッタ首相はこれを拒絶した。各政界は交渉再開の条件として次の三項を主張している。

(一) 共和国代表の外交権の承認

(二) 放問と、これに続く共和国人のオランダ支配地域よりの追

(三) 共和政界の封鎖解除

(二日、バタヴィア I N S)

出総選挙準備委員会任命  
共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

四アソミン処刑される  
アンタフ電の報するところによれば元インドネシア共産党首ア  
リミンは、三日反逆者として絞殺された(四日、アネタ)

ハッタク首相と外相は四人の顧問を帯同四日シヨクジャに到着、直  
ちにハッタク首相と外相は四人の顧問を帯同四日シヨクジャに到着、直  
ちにハッタク首相と外相は四人の顧問を帯同四日シヨクジャに到着、直  
ちにハッタク首相と外相は四人の顧問を帯同四日シヨクジャに到着、直

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

共和憲法相チルトプロジョは三日総選挙中央委員会任命を發表  
した  
(三日、アンタフ)

不信任案の議決あるまではヘーグ会談において決定された中間政  
府樹立に関する協定に拘束されぬものとした。

(注) 右不信任案は五五対三五をもつて否決された

(六日、アネタ)  
(八日、アネタ)

由 共和憲法会の動向  
ステツカール外相は共和憲法会運用委員会の政治委員と二回にわ  
たり会談した、右会談後国民党の指導者マシグンサルコロは同外  
相が最善可能な方法により事態を解決するオランダ側の計畫を  
明確にしなかつた旨を語り、また交渉再開の希望のすくないこと  
をもちした。

さらに彼はもしハッタ首相が国民党の要求を容れない場合は同  
党がハッタ内閣に替つておる四閣僚をひきあげることと決定した  
と述べた。

(六日、アネタ)

軍へイール全軍に援助を要請  
立の幸幅に對し平和と秩序が極めて必要であると強調した。  
軍將兵に命令を強しインドネシアの將來の福祉と繁栄の基礎を確  
立的に援助にあたえよう安請し、インドネシア住民の物質的精神

(七日、ラデオ、オーストラリア)

共和自都に於いてハッタ首相と二日間の会談を行つたステツ  
カール外相は七日、バタヴィアに取遣し、八日さらにグシヤに赴  
く予定であるが、交渉の経緯については言明をさけた。

(七日、南京、ラデオ)

問題に早急介入することを要請し、オランダ側がジャワにおい  
て軍事行動を準備中であることと成送した。ステツカール外相は八日  
グシヤに赴き交渉の予定をとりやめ一時延期した。これに  
関連し、インドネシア側はこれを本國政府に送致し訓令を待つて  
いる。右訓令の到着するまでは交渉は見合せらるものと報せられて  
いる。(八日、ラデオ、オーストラリア)

(六) 中部スマトラの分割



(三十一) ヤリフデイン共産軍を指揮中  
 アンタフ通信の報ずるところによれば、さきに殺害を伝えられ  
 たシヤリフデインは、マデイオン西方のサランガンで共産軍部隊  
 を自から指揮している。さらにスラカルタ軍政長官は彼の部隊は  
 共和國軍に包圍されていると報告している。(九日バタヴィアAP)

(三十二) パキスタン親善使節共和國首都へ  
 アラビ氏の引率するパキスタン親善使節は九日バタヴィアより  
 空路ジョクジャに到着した。一行は先週中インドネシア連邦地域  
 の各地を訪問していた。(九日アネタタ)

(三十三) インドネシア側の新提案  
 オランダは重なるところによれば最近の蘭イ会談にかん  
 するニューイスは嚴重なブツクアウトの下にある。ステツカハ外  
 相はジョクジャ行を拒否してバタヴィアに在るが、彼は國連委員  
 会によつて提出されたインドネシア側の新提案を研究中である。  
 彼は本國政府の訓令を待つてゐるが右訓令の到着するまでは交渉  
 継続を見合せている。(九日ラヂオオーストラリア)

(三十四) ステツカハ外相帰國  
 ステツカハ外相が共和國指導者とジョクジャへ出発したといふ  
 報道は否定された。彼は蘭印政府係官とオランダ側の通告に對す  
 る共和國の回答を研究してゐる。バタヴィアラヂオは同外相が  
 十日もしくは十一日に本國へ帰還する旨を報じ、彼が共和國側との  
 交渉に關與することはないと傳えている。(十日ラヂオ、オーストラリア)

中印スマトフの地方分權委員会は向地方の十一選挙州の分劃を  
 提案した。右提案はスマトフ評議会の執行委員会で検討中であ  
 る。(八日、アンタフ)

(三十五) ムルバ完完全全獨立を主張  
 アンタフ通信によればムソフの統合した共産党の改組の段をうけ  
 て共和國內左翼の三派を合同して七日公式に結成されたムルバ  
 党はプロレタリア党(八人の党員を有する)といわれるが、この  
 新党は八月の選挙によつて、反共主義、及び極端主義を方針とし、一  
 九四五年八月の選挙によつて、インドネシアの完全獨立を目標とする。  
 彼等はオランダ軍がインドネシアの完全獨立を開始すべからずと  
 し、また「敵艦」の旗幟及び上物の没収を主張している。(八日、アンタフ)

(三十六) 中印イ軍父賊  
 オランダ軍司令部の公表によれば、バタヴィア東南四五マイルの  
 ナカンベツク附近において、蘭イ間の衝突があり六〇名のインド  
 ネシア人と二名のオランダ兵が戦死した。この戦死はバンドン、バタヴィア  
 間の急行列車を襲撃した場所で行つた。九日バタヴィア、UP)

(五) オーストリア首相の議会演説  
 オーストリア首相は九日議事において彼はインドネシア問題が満足に取扱われたと感じたことにはかつてない。もし早期に公正な措置にとられたならばジャワの戦争はさけられ、共産党が勢力を得るにいたるようなこともなかつたらうと述べた。

(六) オランダ監視船射撃される  
 オランダ海軍情報部の発表によれば海軍監視船は七日シアツク川の河口において共和軍により機関銃の射撃を受けた。また、八日にはバタン海峡において同様の事件が発生した。(十日アネタ)

(七) アリミレの処刑を否定  
 共和軍放送「自由インドネシアの声」はさきにアネタ報道として伝えられたアリミンの処刑を否定し、彼は裁判のためスラカルタへ送致せられた旨を放送している。(十日アネタ)

(八) オランダ政府の代表者不十  
 オランダ政府の代表者不十は十日日本國政府と会談のため翌路アムステルダム向出発した。(十日アネタ)

(九) オランダ外相ステツカ  
 オランダ外相ステツカは十一月八日以來ジョクジャにあつて共和軍側と交渉中であつたが、十日バタヴィアに帰還した。彼等は情勢が明朗化した旨を発表した、なお同行の共和軍代表

表(十)がモ博士も交渉が「有望である」旨語つた。(十日アネタ)  
 ステツカは十一日日本國向出発の際、記者團に、インドネシアの現状は彼の到着した十日前のそれよりも改善されてい  
 る。共和軍代表者との会談後彼は双方が協定に達する可能性を  
 見たと語り、さらにインドネシアの状況はオランダ内閣により  
 慎重に考究される必要があると附言した。(十一日ラデオ、オーストリア)

経済関係 (一) 対蘭イ借款協定に調印  
 ア 対欧援助計画にも対して、オランダ八千万ドル、対インドネシ  
 よつて、調印された。借款協定がそれへの援助費は輸送、港湾、農業  
 工業等の施設、機械類及び工業原料の購入に充てられ、オランダ  
 も同様右借款をもつて設備、工業原料を輸入するようになった。  
 (二) 十月二十九日ワシントンUP  
 蘭印中央統計局の発表によれば九月主要物産の輸出状況は次の  
 通りである

品目	数量 (トン)	價額 (百万ギルダー)
内原住民ゴム	四三六八九	三九九
ゴム	二八八三一	一八五
エステートゴム	一六八五八	一八三
ヨブラ	一六三〇五	一〇五
バム油	三六四〇	三〇
錫鉱石	三六四〇	三〇

(一日バタヴィアアネタ)

(二) 主要食糧品最高價格の公定  
 共和国政府は、一日、主要食糧品の最高價格を公定した。ジョ  
 グジャの經濟省当局は、右の物價引上げはインフレーション、運

賃の昂騰及び「心理的原因」によるものであると述べた。(一日  
 シンガポールラデオ)  
 (四) ジャワ、オーストラリア旅客選送再開  
 戦後第一回のジャワ、オーストラリア間の定期旅客船が四日バ  
 タヴィアを出港した  
 右はジャワ、チャイナ汽船会社のニュー・ホーランド号である  
 (四日アネタ)

(五) 中國、インドネシア間貿易協定成立  
 五日上海に帰着したインドネシアへの中國通商使節團々長張世  
 祿は「中國とインドネシアの貿易は最近バタヴィアで締結された  
 通商協定に従つて現金取引となる」と次のように語つた。  
 中國は米貨約七百万ドルの綿織物三千五百ヤードをインド  
 ネシアに輸出し、またインドネシアから價額百四十万ドルの粗  
 製ゴム三千トンを購入することに同意した。このほか連邦臨  
 時政府は中國綿糸一千捆を買い入れることに同意したが、この  
 契約はまだ調印されていない。(五日上海ロイター)



三、マライ共産党労働運動を利用  
本年(一)共産党労働運動がマライの労働運動調査のため現地に派遣  
した。二名の英労働省がマライの報告が四日ロンドンで発表され  
たが、これによれば、労働運動指導者は戦争中地下抗日計  
画を指導した。戦後は労働運動を利用して共産主義共和国建設を計  
指し、(四)に共産訓練を受けつつゲリラ部隊を育成していたとい  
導者の下に共産訓練を受けつつゲリラ部隊を育成していたとい  
り。 (一)マライ情勢改善 (六)日、オーストラリアR) (六日、オーストラリアR)  
官は、五日帰任したが最近マライの情勢は非常に改善されて来た。  
然し完全掃討には、(六日、オーストラリアR)  
テロ部(二)英人警察隊に懸中マライ情勢改善 (九日ロンドン、BBC)  
テロ部(三)マライ情勢改善 (九日ロンドン、BBC)

十月には一万七千三百トンを入れている。  
九日、警官殺害される。(九日、ワシントン、AFP) (九日、ワシントン、AFP)  
所において警察隊とテロ員十七名が射殺された。(十日ロンドン、BBC、)

と指定されたもの。の許容割当が定まるはずだが、夫等の商品は大体アフリカからの輸入品だと語った。(五日、マニラ、AP) 六日、新開報によれば約五百のフクテロ團がケソン州内タイバスニラ、ムラ、の二都市を略奪し比人三名が惨殺された。(六日、マニラ、ムラ、)

提出した、今後弁護士を開業の由。(六日、ルイスヴィル、B) 駐日比島代表首席代表入京。(六日、ルイスヴィル、B) 到着した。博士は去る八日東京に

な博士は大使の資格を持ち、従来の比島の賠償実施代表、貿易代表など比島代表部を一本にまとめた。その首席代表となるもので、新代表は従来のアメリカ政治顧問が行っていたフィリピン領事事務の移管を受ける。(十日、渉外局発表)

去る八日東京に着任の比島代表アフリカ博士は左の趣旨を語つた。

比島は日本から亜鉛鉄板その他鋼鉄建設資材を購入し、賠償として工業施設を取戻したいと思つてゐる。非必需品の日本からの輸入を日本とは当分の間貿易を制限し、

比島(一)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(二)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

中(三)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

重(四)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

の(五)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(六)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(七)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(八)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(九)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十一)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十二)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十三)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十四)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十五)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十六)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十七)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十八)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(十九)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

比島(二十)比島國軍義勇隊員を吸収。ラモスはUP記者に次の通り語つた。

0227

禁止するである。技術的には比島はまだ日本と交戦状態にあり、比島には反日感情がみなぎつてはいるが、キリノ大統領は大所高所から外交代表を日本に送ることとしたのである。日本は政治的、経済的に極東の重要な地位を占めて行くのである。 (十日、東京U.P.)

英シヤム

(一) アメリカの対シヤム關心は、左の通り語つた。アメリカ大使ス・ケ月の本國帰省の後、最近シヤムに滞任した、アメリカ大使ス・ケ月は新報記者会見で、左の通り語つた。アメリカ大使ス・ケ月は、阿氏共シヤム問題に非常な關心を示した。アメリカは一九四七年、シヤムから三千万ドルを上るものを輸入した。一九四八年、シヤムの必要とする鉄道運輸器材、農業機械、ドレツツヤカはシヤムの必要とする用途があり、要請されれば、技術的、電氣機械等を提供する用意があり、留学生の交換及シヤム字財政的に援助しよう又文化方面では、留学生の交換及シヤム字生に奨学金提供共が新に考慮されてゐる。

(二) 政党領袖逮捕される。三名の元閣僚を含む六名の政党領袖が昨日逮捕されたが、ブリティッシュ・ワグの反政府陰謀に加担の容疑によるものである。

(三) 日本シヤム間貿易。シヤムは九月、日本から二千万パイツ以上の商品を輸入した。十月、シヤムは九月、日本から二千万パイツ以上の商品を輸入した。入の主なるものは、綿製品、絹製品、貯蔵食糧、鉄製品等である。



ナ、内英より武器購入  
 必要武器を英、國から購入する  
 た、英側は武器の對シヤム供給を  
 未決定だが、近く武器受取のため  
 だと述べている。五日、バンコック、  
 (七)シヤム外務省予算を削減したため  
 シヤム議會は外務省予算を削減したため  
 大使館、汕頭、比島、開港場の開設は  
 但し、印度公使館は近く開設され、  
 元反政府運動者逮捕  
 (八)反政府運動者逮捕  
 建設元、政府大臣六名は現政府を倒し、  
 建設元、政府大臣六名は現政府を倒し、  
 抗日自由タイ運動の指導者で現在、  
 せんとする計画を持つていて、  
 (九)安南人避難民取扱  
 内務大臣はメコン國境を越えてシヤム  
 對し、他國移入民同様、二百パイツの  
 約五千に上る安南人避難民の大部分は、  
 二百パイツの入國税を課するよう命令を

一方シヤムから日本向輸出も増加して  
 社はタピオカ粉五百トンを輸出したが  
 百トンの注文を受けている。  
 訪日貿易ミッション長タヴィルは先週  
 プン首相と長時間會談したが近く、  
 されるものと見られる。  
 尙日本はシヤム米を欲し、シヤムは  
 るが、現在迄のところ、實際緊急食糧  
 出割当を認めないの、シヤムは日本  
 もつて支拂うこととなる。  
 (二)バンコック、AFP  
 歐州からの滯途、バンコックに立寄  
 相と會見したが、部長は、シヤムの中  
 現在、尙加方を要望した、之に對し、  
 中、尙加方を要望した、之に對し、  
 である。  
 (三)バンコック、AFP  
 遠食糧機轉は、その近東事務局を  
 向、AFPはヨーロッパ事務局をローマ  
 保持している。  
 (三)バンコック、AFP

支拂い得ず六カ月の滞在許可証の手数料十パーツを支拂つて  
 が地方知事は彼等に本國帰還をすすめてゐる（六日バンコック、  
 AFP）。

(十) シヤムの阿片政策  
 シヤム政府は五年計画をもつて、年額五百万ドルの収入ある阿  
 片専賣を遂行することに決した、右計画は、漸次阿片の輸入、販  
 賣、吸飲所特許を遂行せんとするものである。なお阿片吸飲所は  
 バンコックに一〇〇、地方に三五〇を数えてゐる（八日、バンコ  
 ックAFP）。

(出) シヤム米輸出予想  
 シヤム米輸出面積は大体戦前の標準に達したが、米輸出は、今  
 年度は百万トンに達しないと見られる、一九三九年には百三十  
 万トンを示していたこの減少は人口増加による國內消費の増加と  
 農村力力の減少に依る、政府はこのため農村で安價に使用し得る  
 農器具の購入を考慮中である（十日、バンコック、AFP）。

(四) ビン政府の反共措置  
 ビン首相は共産党の次期的なシャム擾乱だとの予想から、  
 反共措置を強化し、移入民の制限、官吏の共産主義者能免を奏行  
 した。首相はシヤム人間には共産主義者は少ない、主として、華  
 僑間にあつて、赤化の脅威は、マライ、ビルマ、中國、インドシ  
 ナ等の國境から來るといつてゐる。在留外國人はシヤムの赤化選  
 動は華僑とバンコック労組連盟から來てゐるが、千五百万の人口

の間には、食糧土地問題は存在せず、農耕地の七五%は農民自身  
 の所有に属し、加之、農耕が安易のため農民は都会に何の問題が  
 起きようが興味を持つてゐないと見てゐる（十日、バンコック、  
 AFP）。

昭和二十三年十一月二十一日

南方地域旬報 第三十七号(十一月中旬)

調査局第五課

文書評記録簿

インドシナ 海軍極東方面司令長官にアメリカ勳章授與  
 フランス ヴェトナスにおける最近戦況  
 南部 ヴェトナスにおける最近戦況  
 抗戦分子のハイフォン列軍爆撃  
 トンキンにおける十一月上半月間の戦況  
 カンホチヤの水の祭典  
 ハノイのハイフォン列車重ねて爆撃  
 フランス人オムニバス車司官並びに高官二導同都市視察  
 北部佛印フランス軍司令官並びに高官二導同都市視察  
 ニュエオン新高等弁務官署任  
 インドネシア 外相席  
 スターカ 外交関係  
 パキスタンとの外交関係  
 東インドネシア議会の決議  
 東インドネシアを承認  
 共和蘭インドネシア再開を承認  
 共和蘭本國の閣議  
 オランダ兵の召還問題  
 オランダ兵の召還問題  
 停戦協定再審  
 オランダ政府の新訓令



比島領事務  
 比島協定案  
 比華航空協定案  
 比島米穀非常事態  
 比島海軍非難民の比島入國許可  
 中領内戦避難民の比島入國許可  
 シヤム内閣總理辭職説  
 シヤム内閣總理説  
 高級武官の不正取調  
 極東經濟會議所移轉  
 前國王大喪延期か  
 シヤム内閣改組  
 シヤム商相更迭  
 シヤム陸軍軍人の不正容疑

出 アメリカの計画案手交  
 再第二ハンドン會議開会さる  
 出ハッタ首相スマトラへ  
 出リッソン共和國を事案上承認  
 出東シヤワ國の設立決議さる  
 内閣印一月九日の輸出入高  
 内閣藏維協定成る  
 マライイ公債募集  
 赤化暴動失敗  
 東南アシア英領會議  
 門日ホール州内掃共戰  
 極東英領首腦會議閉會  
 門マライイ錫十月輸出量  
 門マライイ錫十月輸出量  
 フイリッソン加不可避  
 比島戰爭参加不可避  
 門政軍フク國と衝突  
 比島海軍裁判に不参加  
 門大統領の顯後地区視察  
 門比島航空機東京乘入

マインドシナ海軍極東方面司令官にアメリカ勳章授與  
バンコク駐在アメリカ海軍司令官コルゲン・フランクス  
マンダラオプ・サレジョン・オプ・メリット勳章を授與する  
ためサイゴンに來つた。この勳章はパテ中將が大戦中対シカ  
島方面海軍司令官としてアメリカ政府に貢献ありたるに對し授  
與せられたものである。

(十五日、サイゴン、A、F、P)

最近数日間における西部コーチナ、ミトの北西約十二軒附近  
に屯するヴェトナム抗戦部隊に對するフランス軍の掃討戦にお  
いて、ヴェトナム側は約百名の死者を出し、一隻のジャンクを沈  
められた。また南部アンナムのバダラン岬附近におけるヴェトミ  
ン軍に對する掃討戦においては多くの武器が捕獲され、工場、  
兵舎が破壊され、十隻のジャンクが沈められた。

(十六日、サイゴン、A、F、P)

(日) ハノイハイフォン列車爆破  
ハノイより八二軒の地点においてハノイハイフォン鐵路の列  
車が爆破せられ、八人の乗客が負傷し、若干の軽微なる損害があ  
つた。

(十七日、サイゴン、A、F、P)

(四) 抗戦分子のハノイ郊外要点襲撃  
ヴェトナム抗戦分子が昨夜同時刻にハノイ郊外の数カ所の要点  
を襲撃した。襲撃箇所はカムテン警察署、ハノイ水道給水所、ハ  
ノイ水力発電所等である。砲兵隊は自動銃及び手榴弾を携行  
せる襲撃者等を追い散らした。人物ともに被害はなかつた。

(十七日、ハノイ、A、F、P)

(四) トンキンにおける十一月上半月の戦況  
当地で発表になつたフランス軍の通信によると、十一月  
上半月間においてヴェトナム抗戦軍はトンキン邊境附近各州  
のフランス駐屯軍及び親衛的住民集隊に對して数回に及んで攻撃  
を加えている。かかる攻撃の目的は來るべき乾季におけるフラン  
ス軍の作戦を阻止するにあつたようである。

(十八日、サイゴン、A、F、P)

(内) カンボチャの水の祭典  
「カンボチャの水の祭典」は、カンボチャの年中行事「水  
の祭典」がカンボチャ王宮にわたるカンボチャ古來の儀典的舞  
うを最後に今夕終了した。スバナラオス政府首相を頭とする  
ラオス政府代表ならびに多数のフランスその他外國の代表がノ  
ム・シアヌーク・カンボチャ王の賓客となつた。

(十八日、プノンペン、A、F、P)

(四) ハノイハイフォン列車重ねて爆破  
ハノイハイフォン列車重ねて爆破  
確かなる筋によれば今朝九時またハイフォンより約二十軒の地



点にてハノイハイフォン列車が爆破せられ、四名の乗客が負傷した。負傷者はハイフォンに搬ばれ、列車は間もなく再び出発した。

(十八日、ハノイ A、E、P)

(八)「メコン河委員会」会合  
メコン河に利害關係を有する各邦、カンボチャ、ラオス、南部、ヴェトナム、代表及びフランス代表を含む「メコン河委員会」がカンボチャ王國政府に招請せられて、今朝ブノンベンに合した。同委員会はメコン河の航行区域を拡げる方法を講究する目的をもつものである。メコン河はカンボチャからコーチンナ及びラオスに通ずる最も重要な水路である。

(十九日、ブノンベン A、E、P)

フランス人ゴム園主拉致される  
フランス人ゴム園主ラ致される。抗戦分子により捕獲され、自己所有のゴム、エラル氏は武装せる抗戦分子に捕獲せられたとき、間にわたつて同氏の行衛を捜索中である。

(二十日、サイゴン A、E、P)

(十)北部佛印フランス軍司令官並びに高官二奪回都市視察  
デイゴ弁務官及び北部四十五マイルの地点にある最近ヴェトナム抗戦軍より奪回せるソンタイ及びグイエトリの二都市を訪問した。兩

都市はフランス軍の到着により逸早く退却したヴェトナム不正規軍によりはなはだしく破滅されていた。

(二十日、ハノイ A、E、P)

(出)ビニオン新高等弁務官著任  
新たに佛印新高等弁務官に任命されたレオン・ビニオンは予定どおり本日午前五時サイゴンに到着した。新高等弁務官は新聞記者に對して直ちに聲明を發すること拒絶した。サイゴン空軍に到著の際には多くの高官が迎え、その中にフランス陸軍極東方面最高指揮官ブレゾ中將、スアン・ヴェトナム臨時中央政府大統領代理南部ヴェトナム長官チャン・ヴァン・フイがあつた。ビニオンは新高等弁務官は新聞記者に對して近いうちに記者会見を行うと語つた。

(二十一日、サイゴン A、E、P)





マインドネシア外相帰國  
 (一) ステツカイ外相は十一日空路本國向出發に際し新聞記者に、現今のインドネシアの情勢は、かれの到着した十日前より改善され、協定に達する可能性がある、しかし事態はオランダ内閣の慎重な考慮を必要とすると言つた。(十日ブラザヴィル、ラヂオ)  
 (二) パキスタンとの外交関係  
 アンタラ報道によればパキスタン親善使節はジョクジャカルタにおいて共和薩リム外相と阿國間の外交関係の開始につき協議してゐる。(十二日アネタ)  
 (三) 蘭イ交渉再開協定さる  
 共和薩放送は十一日、蘭イ双方共國連周旋委員会の下に交渉を再開する協定に到着したと報じた。右の協定はステツカイ外相とハツタ首相の会談の結果成立したもので、最近のアメリカ提案を交渉の基礎とする。(十二日ニューヨーク、ラヂオ)  
 (四) 東インドネシア議会の決議  
 東インドネシア臨時議会は全会一致をもつてオランダ政府と連綿の連邦會議結果にたいする政府の声明を承認した、これはアグン首相は國民主義理想と独立主権を新組織において維持すると約束したものである。(十二日、アネタ)  
 (五) ビルマインドネシア承認  
 (五) ビルマインドネシア承認  
 インドネシア放送は十三日、ビルマ政府が正式にインドネシア共和國を承認し、ジョクジャカルタに大使館を開設することに決定した旨を発表した。(十三日、バタヴィア AFP)

した旨を発表した。(十三日、バタヴィア AFP)  
 (六) 共和薩情報相は蘭イ交渉再開を確認  
 「十二日のハツタステツカイ会談において交渉再開にかんする原則的な協定に到達した。その期日は未定であるか予備會談は進行中である、しかしオランダ政府の確認はまだない」  
 (十三日、ラヂオ、オーストラリア)  
 (七) オランダ本國の閣議  
 ステツカイ外相は、十三日、阿姆斯特ダム到着にあたり、かれが共和薩側と何等の協定をしていないと言明し、さらに双方の見解の相異点について明確な概念を得ることかでき、交渉の再開は可能である旨語つた。ヘイグよりの報道によれば、オランダ内閣は十五日閣議を開き共和薩との會談を再開するや否や、さらにはどの程度まで共和薩の要求にたいし譲歩するかを討議する予定である。(十四日、ラヂオ、オーストラリア)  
 (八) オランダ兵の召還問題  
 オランダ政府は、最近ヘイグを訪問した西歐國防委員長モンゴメリ元帥が蘭印駐中のオランダ兵の召還を要求したといふ外國筋の報道を否決した。(十五日、ブラザヴィル、ラヂオ)  
 (九) 昨午共和薩軍の俘虜輸送中四名のインドネシア人を死亡させた事件は、六ヶ月にわたる停刑の言渡しが行われた。(十七日、アネタ)

(十) オランダ政府はハッタ首相との非公式会談を終り最近帰歐した  
オランダ政府はハッタ首相との非公式会談を終り最近帰歐した  
ステツカイ外相の報告を基礎に閣議を開き、パタヴィアにある同  
外相顧問館に對する新訓令を決定した。  
(十七日ニューヨーク、ラヂオ)

(出) アメリカの計画案手交  
國連安保理事會周旋委員會のスポークスマンはアメリカが蘭イ  
會談再開に關する計画案を手交したことを確認した  
(十八日ロンドンBBC)

(出) 第二バンドン會議開會さる  
バンドン國首相ブラデイレジャは十九日第二バンドン連邦會議  
を開會した。この會議はインドネシヤ合衆國とオランダ、インド  
ネシア連合に關しオランダ政府に提出する予備草案を討議するも  
のである。  
(十九日アネタ)

(出) ハッタ首相スマトラへ  
ハッタ首相は数名の閣僚を從へ十八日夜南スマトラのジャムビ  
に到着したが、十九日首都プキチンギ向出發した。  
なお一行は数週間スマトラの共和國地域に滞在する予定である  
が總選挙の準備工作も行うもようである。  
(十九日アネタ)

(出) ヒリツピン共和國を事實上承認  
フィリツピン政府は、二十日、イ共和國のフィリツピン派遣親  
善使節團の入國を承認した。  
なおフィリツピン議会の外交委員會はイ共和國を事實上承認す  
ることに決定した。  
(二十日、マニラ、AP)

(出) 蘭イ交渉再開決定  
二十日ヘীগおよびパタヴィアにおいて同時に発表されたコム

なおアメリカ向輸出は一三二、五百万ギルダである  
 (十二日アネタ)

(六)日蘭織維協定成る  
 アメリカ当局筋は、十九日、オランダ当局と総司令部織維課との間に価格約四千万ドル、数量二億ヤードの日本綿製品の販賣協定が調印されたと言明した一方経済協力局は蘭印とオランダに日本織維品買付資金として八百九万ドルを割当てたと発表した  
 (十九日ワシントンA.P、U.P)

ミユニケによればオランダ外相ステッカーと海外相ザッセンは近く多数の専門家を従へてジャワに赴き共和国側と交渉を再開することになった。  
 (二十日ヘーグ、A.P)

(六)東ジャワ國の設立決議さる  
 インドネシア合衆國の一員としての東ジャワ自治國の設立をめぐる東ジャワ會議は全東ジャワの各地よりの七十五名の代表者をもつて十六日より開催中であつたが十九日夜絶大多數をもつてその設立を決議した、なお右會議は二十日より憲法案の討議を開始する。  
 (二十日アネタ)

(七)蘭印一月一九月の輸出入高  
 中央統計局の発表によれば、蘭印の輸出入高は次の通りである、一月一九月の輸出高は前年度の二倍となつてゐる

輸出入	七五三、七(一月一九月)	三、四三二(全年)	
輸出	一九四、八(一月一八月)	一、九、四七年	
輸入	七五三、七(一月一九月)	三、四三二(全年)	
輸出内訳は次の通り			
ゴム	一九六、三	錫、錫鉱石	一一、二
織維	一、二	茶	一一、五
コヒ	三、一	煙草	一、二
石油	一、八	香料	一、四
同製品	一、八	キノ皮	一、五





員二七名死亡、三五〇名獄卒内一四二名拘禁、その他多数のテロ  
 閣下を破砕多数の武器薬品等を押収した。その際英軍副将校  
 一名死亡、一名負傷、兵二名重傷を出した。(十九日オーストラリアR)

印 領 東 英 領 首 領 会 議 閉 会  
 ジョホールバルにおいて十八日十九日両日にわたって開かれた  
 英領東英領首領会議は終了した。英領各代表の外  
 務大臣、英軍司令官三名も列席した。  
 時局に就する情報意見交換に役立ったので今後定期的に開催  
 の予定といわれる。(十九日シンガポールR)

内 マライ 州 十 月 領 出 意  
 シンガポール、ペナンからの十月中の輸出額は四六八六トン  
 (八月四四九九トン、九月中五七八二トン)この内シンガポー  
 ル二二六七トン、ペナン二四二二トンとなつてゐる。  
 (八日シンガポールロイター)

出 マライゴム 輸出  
 マライ、ゴムの客月の輸出中一万七三〇〇トンはソ連に輸出さ  
 れ、九二五〇トンが英領に仕向けられた。(十八日ブラザイル、R)

マライ (一) マライ公債募集  
 マライ政府は経済復興開発の三年計画のため一千二百万ポンド  
 の公債募集に決定した旨発表した。十一日当届談によれば本年度  
 の公債募集は一千四百万ポンド以上、又明年度は七百万ポンドの夫々不  
 足となる見込。(十一日ロンドン、BBC)

(二) 赤化暴動失敗  
 英植民地リストウエルは十日下院においてマライにおける共産  
 党の赤化暴動と政府の鎮圧計画は完全に失敗に帰したと声明するこ  
 とは決して早過ぎないであろう。又共産党はマライ民衆の有力な  
 部分を赤化の目的に引きつけることも失敗したと述べた。  
 (十一日ブラザイルR)

(三) 東南アジア英領会議  
 東南アジア英領首領マクドナルドは境下の政治経済諸問題討議  
 のため東南アジア英領首領地総督及び英外交代表の会議を招集する  
 十八日ジョホールバルに開催の予定を発表した。同弁務官はマライ  
 の赤化暴動は遠からず抑止されようか中絶における政情がマライ  
 共産分子の勢力に影響してゐると述べた。  
 (十六日ロンドンBBC)

(四) ジョホール州内掃共戦  
 英軍は十八日まで毎日わたり警察隊の協力を得てジョホール  
 ムーア地区約六百平方マイルの地域の掃共を完成した。テロ閣

五、フィリッピン  
（一）比島戦争不可避  
比島國軍副參謀長カリクスト、デューク將軍は記者会見において、明年三、四月頃第三次世界戦争勃発するであろうが、比島は当然これに巻き込まれるであろう。現在の國軍は國內治安維持には十分だが強國の侵入軍を防ぐには不十分であり、そのためには更に裝備と訓練のよい二十五ヶ師團の兵力を要するであろうと語つた。  
（十一日マニラ、U、P、）

（二）政府軍フク國と衝突  
空軍にえん護された警備軍は山嶽地帯から食糧獲得のため東部ブラカン州に出動して來たフク國と衝突し政府軍に二名フク國に約十五名の死者を出した。  
（十一日マニラ、U、P、）

（三）比島軍事裁判に不参加  
カリノ大統領は財政上の見地から今後東京戦犯裁判所に代表判事を送らないだろうと述べた。東京以下の被告に対する裁判には、比島からデルフィン、ヤラニラ判事を参加せしめたが同裁判の長期にわたつた経験に徴し、豊田元大將以下の國際裁判に対しては判事を送らないであろうといわれる。  
（十一日マニラ、A、P、）

（四）大統領の騷擾地区視察  
カリノ大統領は自ら中部ルノンにおけるフクバラハツブ騷擾地

区の狀況視察旅行を行つた。  
（十二日バンバン、U、P、）

（五）比島航空機東京乗入、  
比島航空会社はマクアーサー司令部が同社機の東京乗入を許可した旨十三日發表した。  
（十三日マニラ、A、P、）

（六）比島領事事務、  
總司令部外交部が從來取扱つていた比島關係の旅券關係その他領事事務は在東京比島代表部領事部で取扱うこととなつた旨司令部横浜神戸各外交部から發表された。  
（十七日横浜、R、）

（七）比島の戰略的地位、  
アメリカ合同軍事諮團長アルバート、ジョーンス少將は左の通り聲明を發表した。  
自分は比島兵備の廃止又は軍費の他用途の流用等を助言したことはないが、フィリッピンは將來の侵略者にとつて余り重要な戰略的地位にある訳ではないからフィリッピン人は現在の緊迫した國際情勢に神経質になる必要はない。  
（十七日マニラ、A、P、）

（八）比華航空協定案、  
比華航空協定が近く調印されるであろうとの報道を中國外交部員は否定した。

なつたが、英國人、オランダ人は除外される。なお現在比島と條約  
 係にあるものは、佛、伊、スペイン、米、中國のみである。  
 (二十日マニラ、A、P、)

港上し、飛行場使用の必要があり、中國との間に航空協定の締結  
 を中國に要請するであらうといつてゐる。(十七日南京、R、)

(ハ)比島で米穀非常事態、  
 不足に對処するため米の販賣を政府の統制下に入れた。(二十日マニラ、ロイター)

(ニ)賠償物資で造船所、  
 二十日比島に在る比島代表團、アフリカ公使は左の通り語つた。  
 自分は比島に一万級船を払い得る造船所建設案をたて、これを  
 大統領に建議したが、このため日本賠償物資として工作機械、亞  
 鉛鉄板建築用鉄筋などを利用する計画である。  
 案があるが何れも日本の賠償物資を最大限度利用したい。

(三)中國内戰避難民の比島入國許可、  
 比島内閣は中國内戰からの比島入國を許可するに決した。南京、  
 上海からの米人避難民は米國領事の保証によつて入國を許される  
 こととなつた。中國人避難民は現在の移民クォーター五百名の枠  
 内で入國が許される。  
 その他比島と友好條約締結國の人民の入國も許可されることと



五、シヤム

(一)シヤム内閣総辞職  
シヤム内閣は改選のため総辞職に決定した旨十一日ビブン首相から発表された。

内閣改選は国防省の要求に依るもので国防省は多額の公金費消事件について幹部級の嚴重な戒調を要求した。

(二)シヤム領内務印人  
シヤム領内務印人にその各縣知事に對しシヤム領に入る。領土を割用することを嚴禁するよう指令した。又シヤム領に越境する諸印軍人はすべて武裝解除さるべきことを指令した。

(十三日バンコック、A、B、P)

(十四日バンコック、A、B、P)

(十五日バンコック、A、B、P)

(十六日バンコック、A、B、P)

(十七日バンコック、A、B、P)

(十八日バンコック、A、B、P)

(十九日バンコック、A、B、P)

(二十日バンコック、A、B、P)

(二十一日バンコック、A、B、P)

(二十二日バンコック、A、B、P)

(二十三日バンコック、A、B、P)

(二十四日バンコック、A、B、P)

(二十五日バンコック、A、B、P)

(二十六日バンコック、A、B、P)

(二十七日バンコック、A、B、P)

(二十八日バンコック、A、B、P)

(二十九日バンコック、A、B、P)

(三十日バンコック、A、B、P)

(三十一日バンコック、A、B、P)

(一月一日バンコック、A、B、P)

(一月二日バンコック、A、B、P)

(一月三日バンコック、A、B、P)

(一月四日バンコック、A、B、P)

(一月五日バンコック、A、B、P)

(一月六日バンコック、A、B、P)

(一月七日バンコック、A、B、P)

(一月八日バンコック、A、B、P)

シヤム政府に對し、同事務局のバンコック移轉を申入れ、シヤム政府はこれを承諾したといわれる。この移轉は華北、華中における中共軍の進軍にもとづくものである。

(十四日バンコック、A、B、P)

(十五日バンコック、A、B、P)

(十六日バンコック、A、B、P)

(十七日バンコック、A、B、P)

(十八日バンコック、A、B、P)

(十九日バンコック、A、B、P)

(二十日バンコック、A、B、P)

(二十一日バンコック、A、B、P)

(二十二日バンコック、A、B、P)

(二十三日バンコック、A、B、P)

(二十四日バンコック、A、B、P)

(二十五日バンコック、A、B、P)

(二十六日バンコック、A、B、P)

(二十七日バンコック、A、B、P)

(二十八日バンコック、A、B、P)

(二十九日バンコック、A、B、P)

文書記録係

昭和二十三年十二月一日

南方地域旬報 第三十八号 (十一月下旬)

調査局 第五課

ラボリバン少将 (戦時中ビブ首相の下に首相を勤む) が代つて  
首相となつた。

(十八日バンコック A、F、P)

内閣の決定に基き次年度の移人民割当は中国人五百その他外國  
人二百と発表された。

(十八日バンコック A、F、P)

カト中将が軍用物資毛布等購入のため千八百万パイツの小切  
手額出に關する事件取調のため特別委員会が設立された。なお本  
事件は既に警察当局に移された。

(十九日バンコック A、F、P)









である。ピニオン高等弁務官は水曜日朝サイゴンに戻る予定である。

(五) スアン大統領ハノイに向け出発  
同僚空路ハノイに向つて出発した。トラン將軍は今朝ヴィン財務相  
エトナム長官がサイゴン空路にこれを見送つた。

イン上院議員はピニオン高等弁務官、スアン、ヴェトナム臨時中  
央政府大統領、フランクス銀行支配人、外國銀行支配人、佛印政  
経顧問、有力ゴム園支配人等と接触をもつてあろう。なおマロ  
ンは前太平洋沿岸アマチュア拳闘手である。

(四) ハノイ中央市場で手榴弾が破裂し、二人のヴェトナム婦人と一  
人のヴェトナムの子供が負傷した。これはヴェトナム・テロリス  
トの所爲で、犯人は直ちにフランス警察により捕縛された。

(三) ハイフォン港波止場修復  
去る九月の烈な風に乗つて惹起されたハイフォン港トンキ  
ン波止場の損傷が完全に修理された。

(二) フランス人ゴム園主殺害される  
アイルランド系フランス人ゴム園主モリス・オコネルはサイ  
ゴン北方約二十哩のベンカット附近において自己ゴム園を巡察中  
ヴェトミン・テロリストにより殺害された。

(一) サイゴン王ノロドム・シアヌークその  
他カンボジア要人と政治的会談を行うため空路プノンペンに向う

0247

インドネシア  
政治関係  
(一) オランダ閣僚團印に向う  
オランダ外相及び祖氏相は蘭イ会談のため二十一日発、パタワ  
イアに向う旨発表され、オランダ政府は今回の蘭イ会談には  
國連周旋委員会は差当り参加しないであろう。委員会は蘭イ直接  
会談において好結果が見られ、二十一日デリール(R)  
と発表された。(二) 東ジャワの地位  
非共和國領代表からなる東ジャワ台議において、オランダ領  
域の東ジャワ、今後の地位に關し決定したか、十一代表は國家建設  
には反対し、自治州とすることと賛成した。共和國政府は東ジ  
ヤワが從來共和國領に屬していたとの理由で新國家建設に反対し  
ている。(三) 共和國蔵相の米歐訪問  
訪米中の共和國蔵相アレキサンター・A・マラミスは歐州に  
向う直前新聞記者に對し、米歐經濟商業關係者との会談は満足す  
べきものがあり、二カ月の滞米の効果をあつたと述べた。  
後、お同蔵相はパリに於ける國連当局及び共和國代表と会見の  
ニ、エ、ネ、グアの國際赤十字会議に出席の予定である。(二十二日  
ニ、エ、ネ、グアの國際赤十字会議の進出

オランダ軍報道によれば、共産軍はジャリフデン指揮の下にプロ  
マ、及びウイロサリ間の道路と鉄道を切斷し、ジャクジャから約百  
進出して来た。(二十三日、パタヴィア、A、P)  
オランダ本國側より外相祖氏相を派遣し、ペール高等弁務官と  
共和國側と交渉を再開する旨決定され、一行は数名の顧問を  
征え、二十四日到着の予定であるか、オランダ本國から右代表團は  
共和國側と直接交渉を開始する予定だとの報道が傳わるや、共和紙  
メルデカは一共和國は國連周旋委員会との介入しない如何なる交渉  
も正式と見なすこととは出来ないと強調している。共和國政界も  
非公式会談はあくまで直接交渉も差支えないとの見解を示して、か  
公式会談は二十三日アネタ)。  
六) オランダの停戦違反  
敗協定に違反した旨の非難を発表した。(二十五日、ニューヨーク  
R)  
七) オランダ側外国人記者の共和國旅行禁止  
オランダ側外国人記者の共和國旅行禁止の措置をとるオランダ代表は二十六日、ジャクジャにおいて共和  
行を禁止した。オランダ代表は二十六日、ジャクジャにおいて共和



新治の（一）連邦政府東ジャワ國を承認し、先週全東ジャワ會議の結果、新治の（二）臨時議會として承認した。（二十七日アネタ）

（三）非公式會談に對するインドネシア要人の言動

（四）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（五）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（六）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（七）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（八）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（九）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十一）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十二）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十三）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十四）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十五）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十六）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十七）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十八）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十九）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（二十）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（一）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（二）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（三）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（四）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（五）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（六）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（七）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（八）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（九）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十一）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十二）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十三）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十四）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十五）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十六）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十七）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十八）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（十九）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

（二十）連邦政府東ジャワ國を承認した。（二十七日アネタ）

オランダ本國議会の指導者バタヴィアへ  
 着した。消息筋の傳えるところによれば、一行はバタヴィア  
 在し、ジョージヤは訪問しない予定である。  
 尙本日よりジョージヤに訪問しない予定である。  
 との間に非公式な交渉が開始された。二十七日アネタ  
 の間に非公式な交渉が開始された。二十七日アネタ  
 た。オランダ政府代表は共和國外相は新聞記者に対しオランダに到着し  
 は共和國外相との間に協定を成立せしめ、中間政府樹立の準備をな  
 すにありと語った。非共和國外相は右会談の進捗に代  
 表と情報を受ける者であるが、ペール弁務官は二十七日之  
 んとする企は差控えるであらうとの保証を與えた。(二十八日オ  
 ストリアR)  
 カリオランに於いて共和國外相はオランダ兩國代表間に教  
 たり非公式な交渉が行われたが、ジョージヤは送によれば、之  
 正式は國連周旋委員会により行われ、決定的役割を持つべき  
 九日オーストリアR)  
 (四) 蘭イ会談における阿蘭の立場

三十日サセンプ植民相と最後の非公式会談を終ったハッタ首相は  
 次のように語った。  
 今日まで四日間わたる会談は全く非公式のものである。オ  
 ランダの代表は明日バタヴィアへ出発、さらに本会議に關する  
 覚書を本國政府に提出するためオランダへ帰還する。オランダ  
 代表が再びジョージヤへ來訪するや否やは答弁出來ない。  
 サセンプ植民相はアンタラ通信記者のインタビューを基本として國  
 連周旋委員会の下に公式な交渉の再開の可能性ありや否や、また  
 ハッタ首相との非公式な交渉の結果蘭イ紛争の平和的解決の可能性  
 を発見したか何うかとの間に對し口を緘して語らなかつた。(三  
 十日アンタラ)  
 (三) 東ジャワ臨時議会の発足  
 東ジャワ会議は新しく宣言された、東ジャワ國の臨時議会とし  
 て発足することに決定した。  
 本ジャワ会議はさきにアメリカ式の行政機構を決議しスラバヤ  
 の理事官ジョージトを議長に選挙した。  
 尙臨時議会は一日大統領選挙を行う。大統領の資格としては年  
 令四十才以上、インドネシア生れで東ジャワに五年以上居住する  
 ものであることが要求されている。(三十日アネタ)  
 (四) 共産軍司令官逮捕される。  
 軍部筋の報道によれば共産軍司令官ジョコスジョノは東部ジャ  
 ワのベナワンガンにおいて共産党指導者ダルスマン外五名と共に



共和軍に逮捕された。シャリフデンは辛うじて逮捕を免れた。もなきである。(三十日アネタ)

(二) 非公式会談中止を要求  
 アンタラ通信の報ずるところによればカリオランにおいて会談中のオランダ内閣三閣僚は十二月一日バタヴィアへ帰還の予定である。かれ等はハッタ首相と四回にわたり会談した。他方共和国議会の政党指導者はハッタ首相にたいし、これ以上非公式会談の中止を要求した。

二十九日ハッタ首相は議会の指導者にオランダ側との会談のいきさつを説明した。首相は議会の指導者にオランダ側との会談の下に早急公式会談を開始するよう要求した。(三十日アネタ)

(一) 蘭イ会談の目的  
 蘭イ間の協定として特に強調されるべきところは、インドネシアの中央政府と國家軍隊の建設にあると、スカルノ大統領の共和軍幹部宛書翰に述べられた共和政府の目的である。新報によれば臨時連邦政府の予定された期間における共和軍の地位は、下の蘭イ会談における十分な考慮を拂わなければならない。と、(三十日オーストラリア)

(二) スカルノ、ネールに招待される。  
 ジョクジャ放送によればインド、ネール首相はインドネシア共和強化のため大統領に宛し、インド及びインドネシア両國を訪問するよう招待を發した。(三十日バタヴィア、R.P.)

(三) 共産軍大量降伏  
 アンタラ報によれば中部ジャワ、スラカルタ北方ブルタデイ及びアンタラノガンにかいて約千二百の共産党員が共和軍に投降した。(三十日バタヴィア、A.P.)

経済關係  
 (一) 蘭印に八百九万ドル供與  
 付用として八百九万ドルを次の通り割当てた。日本織維品買  
 インドネシア八百九万八千ドル、この内七百六十四万八千ドル  
 は半袋織物類、綸具、綿糸を含む織維製品の買付に、また四十五

目下十九の砂糖工場が稼働しておりその生産は約四〇、〇〇〇  
トンに達した。(二十八日、アネタ)

(四) 東ジャバ長新事務  
インドネシア農業情報部の発表によれば東ジャバにおいて引續  
くかんばつのため多数の米田が植付を開始し得ない状況にある。  
東ジャバにおける一九四八年の砂糖收穫は二〇〇、〇〇〇ト  
ンと予想されている。

万ドルは衣類品の買付に当てられる。  
オランダの四十万ドル、日本からの綿布類の買付に当てられる。  
十九日ワシントン、U.P.  
(二) 経済協力局更に融資  
品、工業機械、鉱業施設資材、電気器械購入のため三百六十万ド  
ルの融資を決定した旨発表した。(二十三日ワシントン、A.P.)  
十月十月中コブラの輸出は一四、九〇〇トンに達した旨政府コブラ  
機関より発表された。  
主要輸出先次の通り。  
オランダ 九一六〇トン  
ベルギー 二〇三〇トン  
フランス 一九七〇トン  
アメリカ 一〇〇〇トン  
(二十三日アネタ)

0252



ソ連は最近極東からのゴム買付を急増して非常用貯備に努めて  
 いることが判明した。米商務省の数字によると、ソ連が九月三十  
 日に終る三ヵ月間に買付けたマライゴム量は四万五千トンで、一  
 九四七年中の極東ゴム築散地の報告に上れば、ソ連の買付は六月五  
 千五百トン、七月一万三千九百トン、八月一万八千二百トンと増加して  
 来た。但し米商務省の輸入量は八月一万余トン、九月平均輸  
 入量はソ連の約三倍となつてゐる。二十一日ワシントンU.P.  
 (4)マライゴム十月生産高は少。二十三日ワシントンU.P.  
 最中にマライゴム生産高は少。二十三日ワシントンU.P.  
 最低に落ちた。九月に比較して一万四〇〇〇トンの減少である。

五、九月の累計では四月平均は十三万一千六百七十七トンであつた。今年一  
 月、二、三、四の増加となつてゐる。九月はマライの六万四千三〇〇  
 トン、インドネシアの五万一千九百〇〇トンと何れも戦後の新記録で  
 ある。一方世界の消費量はソ連の大量買付をも入れて十二万七千〇〇  
 トンとなり、内米國が五万九千〇〇〇トン、その他の國が七万七千〇〇  
 七、〇〇〇トンとなつてゐる。なお合成ゴム生産高は一月間三十九万  
 七、〇〇〇トン、九月の消費量は、四万二千五〇〇トンとなつてゐる。  
 (二十三日ワシントン、A.P.)

マライ(1)擾亂を止める。マライ各地にわたつてテロ隊の掃討戦を  
 行してゐる。シホール州において幹線鉄道の鉄橋がテロ隊に  
 破壊された。直に修理され交通には支障はなかつた。  
 上つて英王はマライを直に管理し、五名に對し植民地警察功勞章を授  
 け、おこと許した。(二十四日、ロンドン、B.B.C.)  
 緊急命令改訂。二十三日、オーストラリア、R、  
 (2)緊急命令改訂。二十三日、オーストラリア、R、  
 マライ連邦政府は現行緊急命令を改正してテロ隊を援助したも  
 のを外に追放し得ることとした。二十三日、オーストラリア、R、  
 の政府発表によれば、目下三四〇名が拘禁されてゐるが、こ  
 の内三八〇名は中國人、九七〇名は印度人である。  
 (二十五日、オーストラリア、R、)  
 白テロ隊の鉄道妨害。ベナン間急行列車通行に對し軌條を  
 テロ隊はクオラ、ラムボ、ペナン間急行列車通行に對し軌條を  
 破壊した。三十三日、ロンドン、B.B.C.)  
 商務省の発表によれば、九月の世界天然ゴム生産高は十四万  
 米商務省の発表によれば、九月の世界天然ゴム生産高は十四万  
 放した旨発表された。(二十日、シンガポール、R.)

0253

十月中の輸出は前月の六万六千五百二二トンから六万〇八五九トンに減少した。(二十三日の六万六千五百二二トン、ロイター)

シンガポールへ三百五十万ドルの輸出

日シから再開されたが、商人は日本との貿易を望んで、シンガポールの再集まっていた。商人は日本との貿易を望んで、シンガポールの再集まっていた。商人は日本との貿易を望んで、シンガポールの再集まっていた。

入ルに許可された二十五日当局から発表があつた。(二十五日シンガポール、AP)

マライの十月のゴム生産減少

一〇トンの比し一万六千三百七十九トンの減少大ゴムの生産は九月の三万三

二一トンの比し三万四千二百〇七トンの減少大ゴムの生産は九月の三万三

本年一月から十月までのマライ、ゴム生産量は五十七万七〇

二一トンの比し三万四千二百〇七トンの減少大ゴムの生産は九月の三万三

四 アイリツピン

(一) マクナット前大使の新使命

前比島大使マクナットは今回米比経済開発会社の会長に選挙された。同氏は同会社の比島における天然資源開発促進の指導を援助することとなつた。(十八日ニューヨーク、UP)

(二) 比島の砂糖生産

在米比島大使ジャキン、エリザルドは比島の一九四九年度砂糖生産量は一九四六年通商協定に依る対米供給量八十五万トンを生産可能の見込と語つた。(二十日ワシントン、AP)

(三) フク島の武器買戻しを提唱

比島最高法院検事グアイセンデ、グイラミンは二十一日夜のラジオ放送においてフク島の農民の反政府騒擾はアメリカが日本軍に抗戦するたためフク島に供給した銃器を買戻すことによつて解決せねばならぬと強調した。(二十一日ワシントン、UP)

(四) 世界銀行の対比援助

世界銀行当局はルソン島に二カ所の水力発電所建設のため千五百万ドルに上る借款供與方に関し比島政府と交渉を開始した旨を発表した。(二十三日ニューヨーク、R)

(田) 比島の援助要請  
比島上院議員エンリク、B. マガロナは比島に対するアメリカ官民のこの上の経済軍事援助を要請した。  
同議員によれば戦争に依る比島人の死は百万を越え、財的損失は二十億ドルを越し、しかも故ルイズベルト大統領の災害補助の約束が多つたにかかわらず僅に四十万ドルをえたに過ぎない。  
(二十四日ニューヨーク U.P.)

(丙) 比島人口調査

國勢調査局長レオン、マリアゴンは最近の人口調査は未だ百カ町村の数字がそろわないが既に千九百五十万を越し全部完成の上は二十万に達するであろうと語つた。  
(二十四日マニラ U.P.)

(乙) 比島経済借款成立か

大統領領近の発表によれば、キリノ大統領は世界銀行当局との会談の結果比島経済五カ年計画に対し、八千八百万ドルの借款提供を予約された越である。  
(二十五日マニラ U.P.)

(四) 極東経済会議における比島の立場

十一月末濠州ラプソンに開かれるアジア極東経済会議に對する比島代表マニエルガレゴ大使は会議における比島の立場に對する次の通り新聞記者に語つた。

(H) マニエルガレゴ大使は二十八日ホアルより空路シドニーに向う予定  
(I) 極東経済會議參加國に對する日本の賠償全部の實施

(カ) オシアス論比

カミロ、オシアス上院議員は政策視察より昨夜歸比明年度大統領選挙に出馬する意向を表明した。  
(二十七日マニラ U.P.)

(ハ) 比島の天然痘流行

ミンドロ島における天然痘流行に對し米比衛生當局は協同防疫措置に努力しているが、同島の周邊には検査網が措置された旨政府より發表された。  
(二十七日マニラ U.P.)

(ニ) 比島を天然痘流行地指定

香港政府は比島を天然痘流行地として指定した旨發表した。  
(二十八日香港 U.P.)

(三) 比島の人口  
統計局の國勢調査集計によれば比島の總人口は千九百萬を超過した。  
(三十日マニラ U.P.)









白マクドナルド并勃自のシヤム訪問  
 サ、マクドナルド并勃自のシヤム訪問  
 同氏は、刺一過同滞をシ、少府同伴三十日、ア  
 信信に、刺一過同滞をシ、少府同伴三十日、ア  
 離言して、刺一過同滞をシ、少府同伴三十日、ア  
 治業維持中、大委員会は、武表共産  
 方を命ぜられた。同委員会は、武表共  
 負入助止の指賞を完了して、ハ  
 一二十日、バンコックA、D、E

昭和二十三年十二月十一日

南方地域旬報 第三十九号 (十二月上旬)

調査局 第五課



(六) 隣接人のシヤム侵入問題  
 (七) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (八) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (九) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十一) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十二) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十三) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十四) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十五) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十六) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十七) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十八) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (十九) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳  
 (二十) シヤム駐在のシヤム公館の宣傳

(一) 日本品輸入許可中止  
 (二) シンガポール住宅復興  
 (三) テンガリンの放火  
 (四) フイリッピン人の入国申請を予想  
 (五) 比島對比財政援助要望  
 (六) 比島對比財政援助要望  
 (七) 比島對比財政援助要望  
 (八) 比島對比財政援助要望  
 (九) 比島對比財政援助要望  
 (十) 比島對比財政援助要望  
 (十一) 比島對比財政援助要望  
 (十二) 比島對比財政援助要望  
 (十三) 比島對比財政援助要望  
 (十四) 比島對比財政援助要望  
 (十五) 比島對比財政援助要望  
 (十六) 比島對比財政援助要望  
 (十七) 比島對比財政援助要望  
 (十八) 比島對比財政援助要望  
 (十九) 比島對比財政援助要望  
 (二十) 比島對比財政援助要望



要とするものが関係者間に意見一致を見た。サイゴンI A F P )

戦をサイゴンI A F P )

表にヤゴンの東に

むにヤゴンの東に

大にヤゴンの東に

邊のノボチヤ王

中シヤム

復六ヶ月

にホチン

手対し

をの手に

右提議した

サイゴン駐在スイス領事官がサエトミン側に捕虜となつ

1.

掛けたがためである。同空港に對しては更に強力なる軍保護を必

に花東を捧げ、午後空路ハノイに歸來した。ハノイI A F P )

強に感謝して、州知事主催の晩會は優雅なる行儀、市墓地を

を病院長、市役所を訪問した。遠方より來つてこの自由擁護のため

る重問、市役所を訪問した。遠方より來つてこの自由擁護のため

を北佛印司令官ラオカインは紅河流域の中國、市境にラオカ

る。二日、サイゴンI A F P )

留英人關係に於いては、高官と接融をもつてある高等弁務官と語つて

公式のもの、サイゴンI A F P )

英陸軍極東方面最高指揮官リンチイ大將は本日午後サイゴンに

インドチナ方面最高指揮官リンチイ大將は本日午後サイゴンに

ていつけるフランス人の情報を獲得するたぐにヴェトミン当局と接触  
 郵便の交換は豫めヴェトミン側と連絡をつけた後フランス側からハノ  
 字に英総領事ドレイパー・ウイルソンを通じてなされた同様の  
 提議をホチミン政権が拒絶した経緯がある。サイゴン(AFP) -  
 (七) ビニヨン高等弁務官は今朝ユエより戻る。サイゴン(AFP) -  
 (八) ビニヨン高等弁務官は今朝ユエより戻る。サイゴン(AFP) -  
 (九) ビニヨン高等弁務官は今朝ユエより戻る。サイゴン(AFP) -

否が決定するまでは、石会見の模様によりスアン大統領の渡欧の可  
 ム官に先立ち、同高等弁務官に会見する予定である。ヴェトナ  
 の滞国においては、同高等弁務官に会見する予定である。ヴェトナ  
 否が決定するまでは、石会見の模様によりスアン大統領の渡欧の可  
 ム官に先立ち、同高等弁務官に会見する予定である。ヴェトナ  
 の滞国においては、同高等弁務官に会見する予定である。ヴェトナ

は一九四七年十月、オーストリア赤十字代表者の最後の会合  
 の大規模の冬期政務に入る数日前に行われたのであつた。  
 依願した。フランス及びヴェトミン赤十字代表者の最後の会合  
 一九四七年十月、オーストリア赤十字代表者の最後の会合  
 の大規模の冬期政務に入る数日前に行われたのであつた。  
 依願した。フランス及びヴェトミン赤十字代表者の最後の会合  
 一九四七年十月、オーストリア赤十字代表者の最後の会合  
 の大規模の冬期政務に入る数日前に行われたのであつた。  
 依願した。フランス及びヴェトミン赤十字代表者の最後の会合

ニインドネシア  
 一、インドネシアの  
 二、インドネシアの  
 三、インドネシアの  
 四、インドネシアの  
 五、インドネシアの  
 六、インドネシアの  
 七、インドネシアの  
 八、インドネシアの  
 九、インドネシアの  
 十、インドネシアの  
 十一、インドネシアの  
 十二、インドネシアの  
 十三、インドネシアの  
 十四、インドネシアの  
 十五、インドネシアの  
 十六、インドネシアの  
 十七、インドネシアの  
 十八、インドネシアの  
 十九、インドネシアの  
 二十、インドネシアの  
 二十一、インドネシアの  
 二十二、インドネシアの  
 二十三、インドネシアの  
 二十四、インドネシアの  
 二十五、インドネシアの  
 二十六、インドネシアの  
 二十七、インドネシアの  
 二十八、インドネシアの  
 二十九、インドネシアの  
 三十、インドネシアの  
 三十一、インドネシアの  
 三十二、インドネシアの  
 三十三、インドネシアの  
 三十四、インドネシアの  
 三十五、インドネシアの  
 三十六、インドネシアの  
 三十七、インドネシアの  
 三十八、インドネシアの  
 三十九、インドネシアの  
 四十、インドネシアの  
 四十一、インドネシアの  
 四十二、インドネシアの  
 四十三、インドネシアの  
 四十四、インドネシアの  
 四十五、インドネシアの  
 四十六、インドネシアの  
 四十七、インドネシアの  
 四十八、インドネシアの  
 四十九、インドネシアの  
 五十、インドネシアの  
 五十一、インドネシアの  
 五十二、インドネシアの  
 五十三、インドネシアの  
 五十四、インドネシアの  
 五十五、インドネシアの  
 五十六、インドネシアの  
 五十七、インドネシアの  
 五十八、インドネシアの  
 五十九、インドネシアの  
 六十、インドネシアの  
 六十一、インドネシアの  
 六十二、インドネシアの  
 六十三、インドネシアの  
 六十四、インドネシアの  
 六十五、インドネシアの  
 六十六、インドネシアの  
 六十七、インドネシアの  
 六十八、インドネシアの  
 六十九、インドネシアの  
 七十、インドネシアの  
 七十一、インドネシアの  
 七十二、インドネシアの  
 七十三、インドネシアの  
 七十四、インドネシアの  
 七十五、インドネシアの  
 七十六、インドネシアの  
 七十七、インドネシアの  
 七十八、インドネシアの  
 七十九、インドネシアの  
 八十、インドネシアの  
 八十一、インドネシアの  
 八十二、インドネシアの  
 八十三、インドネシアの  
 八十四、インドネシアの  
 八十五、インドネシアの  
 八十六、インドネシアの  
 八十七、インドネシアの  
 八十八、インドネシアの  
 八十九、インドネシアの  
 九十、インドネシアの  
 九十一、インドネシアの  
 九十二、インドネシアの  
 九十三、インドネシアの  
 九十四、インドネシアの  
 九十五、インドネシアの  
 九十六、インドネシアの  
 九十七、インドネシアの  
 九十八、インドネシアの  
 九十九、インドネシアの  
 一百、インドネシアの

さるるで、あるう。ホチミン政権が二十四時間休戦の受諾をラヂオ  
 によつてフランス側に申込んだ後、サイゴン、A.P.P. (石の公式コン  
 ミュニケを發表した。十一日、サイゴン、A.P.P. (ハノイ、A.P.P.)  
 ヲエトミン不正規軍がロケット砲を以て有名なドウメル橋附近  
 のウオタリ、タンクに對して發砲した。叛乱軍はボートに乗つて  
 紅河を下り、タリ、タンク、フランクス、巡邏隊が立ち向うと、倉皇として逃げ  
 去つた。ウオタリ、タンク、フランクス、の損害は甚微であつた。同様にハノイ  
 給水所にも手榴弾が投げ込まれたが被害はなかつた。ハノイ、A.P.P.)



國連周旋委員会は左の諸点に強調した第四回中間報告を閣議本部に送った。

(イ) 共和領の経済事情の悪化と復興の遅滞

(ロ) 共和領の政治的困難の悪化

(ハ) 両当事国間関係の緊張

(ニ) 停戦状態の緊迫による両国衝突の可能性増加

なお右報告書は共和領内の経済状態が第三回中間報告以来急速に悪化し、今や最悪の段階に入っていると述べている。

(二日 アネタ)

(内) 蘭イ停戦協定の危機

國連周旋委員会の安保理事会对する報告に依れば蘭イ会談の行結りは両国停戦の危機を齎している。同委員会は政治問題が六月以來何等進展しておらず現在進行中の会談は極めて重要であり両者間の協定成立に対する恐らく最後の企図となるであろう。この行結りは共和領内のほとんど完全な貿易の停止と経済復興の遅延に基くもので、この状態の継続は共和領の経済恐慌を結果するであろうと述べている。なお委員会はオランダ側は米濠両国委員の妥協案を考慮することを好まない風であり事態は軍事行動の再発のおそれを時々生じせしめると述べている。

(三日 ニューヨーク R)

(イ) 共和領人捕虜死亡事件

バタヴィヤにおける最高軍事裁判所は昨年十一月鉄道輸送の途中

死亡した共和領捕虜事件に關連した十二名の將兵に対し判決を與へた、その中三名は無罪釈放、その他は二カ月ないし八カ月の禁錮刑に處せられた。

本件は本年初スラバヤ海軍法廷において一名を除き全部釈放となつたが、後事が控訴したものであるつた。

(四日 アネタ)

(イ) アメリカ上院議員のイ共和領視察

ジャワ訪問中のアメリカ上院議員メロンはジョクジャニにおいてスカルノ大統領その他要人と会見の後本日バタヴィヤに帰つたが、記者に対しその旅行目的に關し次の通り語つた。

インドネシア産物資中アメリカの製望しているものに対するオランダ経済封鎖の影響およびマインシャル資金中の対インドネシヤ融資状況等を視察研究した。

(五日 アネタ)

(イ) 共和領通貨状況の不安

バタヴィヤ入報によれば共和領の南スマトラおよび西ジャワパンタム州における通貨状況は極めて憂慮すべき不安状態に陥いつている。

(五日 アネタ)

(イ) ハツタ首相バタヴィヤで最終的会談

四日のバタヴィヤ報によればハツタ首相は國連委員会アメリカ代表コクランと同道バタヴィヤに到りオランダ代表の帰朝出發直前簡便代表と最終的会談を試みたがその努力も失敗に帰した。

(五日 ニューヨーク)

ハッタ首相は五日、蘭イ会談は軍隊の監理問題で継続できなくなつたと次のように語つた。

交渉はインドネシア連邦樹立までの中間期間におけるインドネシア共和国軍隊の管理問題で決裂した、オランダ側は共和国が参加しなくても連邦を作るつもりでいるが共和国以外にはインドネシアで指導的役割を演じうるものはないから、このように中間政府は失敗に終るであらう。(五日バタヴィヤ、U.P.)

五日(土)蘭イ両者の主張

週末の行詰りを打開するに失敗した旨共和国情報から発表された。オランダ閣僚は作日空路ハイグ向け帰途についた。

行結りは臨時期間中のオランダ軍隊を含む軍隊使用および管理から発生した。ハッタ首相はオランダ軍隊は連邦臨時政府の承認なくしてインドネシアに対し使用すべからずと主張したに対し、オランダ代表はインドネシアの主権はオランダ弁務官にあるべきだと反駁した。(六日オーストラリアR)

蘭イの衝突

バタヴィヤのオランダ通信はバタヴィア南方三十マイルの地点においてインドネシア、ゲリラ部隊とオランダ軍との衝突が勃発した旨報じた。(六日オーストラリアR)

蘭共和国中央銀行業績

インネシア銀行の民間および政府産業への融資は一九四六年十二月の三百万ルピアから一九四七年十二月の四百万ルピアに増加し、一九四七年八月十七日臨時中央銀行として、三四〇・〇〇ギルダ(日本軍票)の資本をもつて設立されたものである。

(六日ジョクジャ、アンタラ)

蘭オランダと極東経済委員会

八日アジア、極東経済会議においてインドネシア共和国が準会員として承認されるならば、オランダ代表團は同会議から脱退するであろうとゲリッセン、蘭代表は述べ、同会議が共和国の加入を認めるに依りては、その権限にない政治的決定をなしたことになる。安保理事會も國連社会委員會もともに共和国のステータスに關しては何等の決定をなさなかつた。経済委員會が共和国の準会員を認めることは共和国がインドネシアの國際關係に責任を有することを認めたことになるが、インドネシアの國際關係はオランダの責任に属すべきことはレンヴィル協定によつて認められた事実であり本件に關するかかるとオランダの態度はオランダに附言した。

三回會議においても表明されたところであつたと附言した。

現在本委員會は投票権はないが會議で意見を述べる事が出来る。一七日オーストラリアR)





ヒルバースム放逐に對し、オランダ代表團は八日ハ  
 グに帰つたが、イ共和国との諒解到達という点には悲観的であ  
 る。お植民相は、共和国指導者の態度には失望したと述べ、蘭イ  
 両意見の主な相違点は暫定期間における行政権の問題にかか  
 っているが、オランダ側は臨時インドネシア政府を規定する法案  
 は一月一日発効するといふ点の重要権を認めてゐる。然し臨時設  
 置した共和国を除くとして設立して不可とする理由はあるまいと附  
 言した。八月一日オーストラリア

④インドネシア、アジア経済会議に加盟  
 ラブストンに開会中の蘭東経済會議は八日ニュージ  
 ーランドがインドネシア共和国および蘭領インドの両者の同會議  
 加入案を提議したのを表決の結果、ニュージーランド、フィリピン  
 、ソ連、オーストラリア、ビルマ、インド連邦、パキスタン、  
 中国の八ヶ國が賛成、オランダ、アメリカ兩國が反対、佛、英、  
 シヤムが棄権し、蘭原八對二で通過した。両者の加入を認め、  
 このため、イ共和国の加入に反対した。オランダ代表は退場し、  
 同議長はグリフツマン博士に「直接に宿舎を引取り予定だ」と発表  
 した。

⑤イ共和国のFICAを参加問題  
 八月一日インドネシア代表團が決定

されるや、議場から引揚げたオランダ代表は、この決定は將來、  
 蘭連済済社会委員会で取上げられるであろうと語つた。

④オランダ内閣は、八日ジャワから帰蘭した議會代表團の報告を  
 基礎にイ問題の討論を再開したが、「イ」現地情勢の緊迫に鑑み本  
 問題の取扱は甚だ困難だと見られてゐる。官邸からは未だ何等の  
 意見も発表されなかつたが、この沈黙は十一月初めスチンカイ外相が  
 ジャワから帰蘭した当時の樂觀氣分と甚しい対照をなしてゐる。

⑤インドネシア人民議會  
 アンタラ報によれば、共和国領域内外のインドネシア各政党代  
 表はクリスマスにジャバ、ジャカルタに開催の「イ」人民議會に出  
 席方招請された。

⑥東インドネシア、東インドネシア交離  
 東インドネシアに對するインドネシア共和国親善使節團は十四  
 日空路出發の旨発表された。

⑦東インドネシアの密貿易  
 東インドネシアの密貿易は昨日議會において同國は過去二  
 ケ年間の大規模な密貿易のため外國爲替で約八千万ギルダの損  
 失を受けたと述べた。密貿易の説明によれば三ヶ月前司法稅關兩当  
 局合同密貿易検査の結果、密貿易は主としてマカッサル方面商人  
 が關係し、彼等が一年足らずの間で百万ギルダ以上の不正利益

を獲てゐる事実を發見した。彼等は小型船、トラック等を使用、東インドネシア諸島物産をシンガポール方面に賣込み、又は海上で物々交易を行ひ、又、ユーヒー、コブラ等をセレベス沖の小島に送り込んでゐる。東インドネシアは建國以來之等密貿易業者のため財政経済上異常の損害をこうむつてゐるとして密貿易防止のため國民の協力を要望した。(九日マウツサル、アネタ)

英共和新聞のアメリカ批難  
 ラブストン経済会議におけるアメリカ代表の態度に対し、インドネシア左派紙マツサは世界の人は大資本主義國アメリカがオランダのインドネシアにおける植民主義維持を支持してゐることを知るであらうと述べ、またジョクジャ新聞ケダウラタン・ラヤット紙は、アメリカがオランダを支持した動機はオランダがアメリカに持つてゐる巨大の正貨にあるであらう、しかし、長い間にアメリカもオランダ支持が割に合わぬ事を知るのであらう、中間に國がそのよき前例だと論じた。(十日ジョクジャ、アネタ)

マライ (一)日本品輸出入許可中止  
 シンガポール、マライ連邦政府は日本品の輸入許可發給を中止した。その理由は最近の自由貿易再開以來、綿布を除く他の日本品に対する輸入許可申請は、一千百五十万海峽ドルに達したが同額には、總司令部とスターリング領域間の貿易協定に依る、マライに對する許容量である。  
 (二)シンガポール (A P)  
 二日シンガポールで  
 濠州ラプストンで開催中の國連アジア極東經濟會議は六カ月後の次期會議をシンガポールで開催することに六日決定した。  
 (七)シンドニア (A P)  
 七日シンドニアで  
 (三)シンガポールの住宅復興  
 シンガポールは目下人口過多で苦しんでゐるが本年は一日に住宅又は店舗二戸の割合で建築されたが更に約千戸が建築されつつある。  
 (八)オーストラリア (R)  
 八日オーストラリアで  
 (四)テロ團停車場に放火  
 マライ連邦首府グオラ、ラムサより北方二十マイルの停車場を襲撃した共匪團は之を焼拂つた。  
 (八日 B B)



に派遣するに決定した旨発表された。(三日、マニラUP)

駐日比島代表、アメリカ製として比島へ

して比島に入つて、ベルナベ・アフリカ公使は日本領アメリカ製と

定した、然しその量は少ないので比島としてはアメリカに抗議す

る意向はないと語つた。

アフリカ公使の説明に依れば日本品は一人アメリカ太平洋岸

に積出され更にアメリカ製として比島に輸出されるが、アメリカ

品は無税なので、比島國庫の損出となる。建築資材等が特にこの

経路で入つて、比島大使、マニラUP)

ジャキン・M・エリザルデ大使は十二月二十六日マニラ発ワシ

ン表された。送東京にマニラUP)

旨発表された。六日、マニラUP)

印度政府商務次官M・スリナゲン及び外務次官フエリノ・ニレ

を遂げた。七日、マニラUP)

は印度政府商務次官M・スリナゲン及び外務次官フエリノ・ニレ

を遂げた。七日、マニラUP)

れか、中国財政部長をつとめたことのある黄漢梁は最近マニラを訪

れたが、之に關連して当地中国人消息筋は次のような観測を下し

フィリピン人の入國申請を予想

比政府及実業界では極東委員会が日本経済の発展に一層刺戟を

與えるため日本人の海外旅行に加入された制限を緩和するよう予

司令部に指令した結果、日本人の比國申請が早期に行われると予

想している。二十九日、マニラロイター)

外務省筋報に依れば、比島政府は吳火力發電所施設を賠償として

要求する意向を捨てず、在日アメリカ公使が自ら本問題を取扱う

ことになつた。本施設は比島および中國が競合つてゐるが、比島

上院は同問題に關し大統領に勸告を提出し、大統領は南部旅行か

ら帰京次第考慮する予定である。(三十日、マニラUP)

比島代理大使は財政援助を望む。三億ドルの資本支出を必要とす

る。比島の輸入は八億ドルに對し、輸出は三億四千万ドルに過ぎない

か、比島に對する投資はかかるとは出来ぬ。且つ世界の貿易に役立

つて、比島に對する投資はかかるとは出来ぬ。且つ世界の貿易に役立

比島政府は同國人の中國引揚を決定し、海軍巡視艦を三日上海



英シヤム内閣改造  
 (一)シヤム内閣改造  
 國防大臣として入閣を要請されたテパスタチン中将は之を拒絶したため、ナッククワツブ中将が再び國防相に決定した。先に辞意を表明した十五閣僚中三名の退職が決定した。他は留任に定まつた。  
 (一)一日バンコックAFP)

シヤム訪問中のマクドナルド、ビブン会见  
 (二)マクドナルド、ビブン会见  
 シヤム訪問中のマクドナルド弁務官は一日ビブン首相と会見した。右に關する官辺の声明は発せられぬが東南アジアを脅威する赤化攻勢に対する英、シヤム間の協力に關し話合したものと見られる。  
 (一)一日ロンドンBBC)

前國王暗殺事件、取扱中の檢事總長事務室金庫が一日破壊され  
 (三)檢事總長室の盜難  
 前國王暗殺事件、取扱中の檢事總長事務室金庫が一日破壊され守衛一名行方不明の旨判明した。  
 (二)一日バンコックAFP)

新大臣任命  
 (四)新大臣任命  
 五名の新大臣が任命された。内プリンス、ウイワットの藏相ピヤ、テトプハサデンの交通相が含まれている。  
 (三)一日バンコックAFP)

シヤムへの中國避難民  
 (五)シヤムへの中國避難民  
 シヤム首相は南京避難民委員会は、シヤムに対し白系

てゐる。  
 黄氏は孫科行政院長の代理としてフィリッピンの投資家と合同して当地に銀行設置を提案することは確実だ、また孔祥熙一家もマニラで留業を開始することに關心を持つてゐる。  
 孫孔兩家のかかる動きに關連して中國の大財閥が資本をフィリッピンに移す準備を進めてゐるとの報がさかんに行われつつある。  
 (八日、マニラAFP)

日本に対する寛大な態度警戒さる  
 (六)日本に対する寛大な態度警戒さる  
 極東アジア經濟會議比島代表マニエル・V・ガレゴ大使は、日本復興に對する寛大な態度は危険だと警告し、日本の貿易は膨脹するであろうが、日本の賠償義務を完了しない間は同國の戦前の生活水準に復活せしむべきではないと述べた。  
 (八日、シドニーAFP)

比伊友好條約批准交換  
 (七)比伊友好條約批准交換  
 フィリッピン、イタリイ友好條約の批准交換は、マラカナン・パレニスに於いて十二月十日行はれる旨公報をもつて發表された。  
 (九日、マニラAFP)

出マニラ麻等輸出解禁  
 (八)出マニラ麻等輸出解禁  
 アメリカ商務省は九日これまで輸出を禁止されていたマニラ麻ライザル纖維、燃糸、打糸等一定種類を限り海外に輸出されることになつたと發表した。(九日、ワシントンAFP)



ロシア人を含む中国難民八千名を入方を要請したが政府としては考慮中であるが自分個人としては、之を許容する用意はないと語つた

先般ビブレン首相の命令で設置された法治、維持委員会は、印及びビルマより不良分子が多量にシヤム領に侵入して来ているとの説は多分に誇張されているとの声明を発表した

(四日バンコックAFP)

シヤムにある英、米両公使館は、昨月前、新聞にニユトス供給の目的をもつて調査を催した。情報事業を開始したがロシア公使館も同様シヤム人に調査問題に對するロシアの態度を媒介する情報サーピスを開始することを考慮している

(四日バンコックAFP)

マクドナルドのシヤム訪問に關しシヤム新聞は、最近に報道し氏はシヤム当局と防共共同戦線に關し協賛するものと見てゐる、華前が中共の押えるところとなればシヤムに赤化の脅威が流入するのを防ぐことは不可能となるらう、しかし英米がシヤムの赤化の脅威から守らうとするならば口頭での援助だけでは、敵目で進路施設に關する物質的援助が必要であると語つてゐる

(三日バンコックAFP)

互に意見を交換し食糧増産のための研究を行う仲介きかんとなり、また、世界米穀理事會が設置せられた場合その本部ともなるはず

(五日シドニーAFP)

英外務次官は六日下院に對し英政府はシヤム陸軍再裝備に關しシヤム側と未だ何等の協定に達してゐないと答えた

然しベヴィン外相は駐シヤム公使から問題に關しリコメントシヨンを受けてゐると語つた。

外務次官はなお、シヤム米の輸出は、國際食糧委員會の決定に基くものであるが英政府は東南アジア英領向として同委員會の割当てたシヤム米購入方を措置したと述べた

(六日ロンドンBBC)

内シヤムマライ廣範を諒解成立立  
マクドナルド弁務官はバンコックより帰任したがシヤム当局との會談は廣範を諒解に到達し今後一層緊密な協力を期待し得るであろうと語つた、なおバンコック英公使館は、マクドナルドとシヤム当局との會談は東南アジアの問題に關連したものとコミニケを発表した

(六日ロンドンBBC)

白シヤム予備兵の訓練  
バンコックの國軍本部は數千に上る予備兵を三カ月間新式兵器に基く訓練をなすため召集する計画を発表した

昭和二十三年十二月

南方地域旬報 第四十号(十二月中旬)

調査局第五課

23

右発表は週報のマクドナルド、ピブン間のマライ、シヤム反共  
協力に関する会談に続いてなされたものである  
(七日BBCロンドン)

RA'-0262

0272







マインドシナ

(一) ダラット経済会議開会  
年二回定期開会のダラット経済会議が今朝フランス軍艦東方面

総司令官兼佛印高等弁務官代理ブレンソ大將主席の下に開会された。  
ダラットにはサイゴン北方二百里の南部佛印高地に位置する避暑  
地である。会議の目的はインドシナ経済再建のための方途を討議  
するにある。会議にはヴェトナム、ラオス及びカンボジアの代表  
及び専門家が出席している。会議は約十日間続く模様である。

(十三日ダラットAFP)

(二) アンナン人及びカンボヂヤ人のシヤム領流入  
シヤムの新開地は多数のアンナン人及びカンボヂヤ人避難民が曠  
境のノンカイ州に流入して来たことについて不平をこぼしている。  
バンコック諸新聞によれば、避難民が非常に低いサラリに甘  
じて御くのでシヤム人労働者を職場より排除する結果となり、同  
州シヤム人のけん悪の対象となつていり。内務省は地方当局に対  
し、移民規則による正規の入國をせざるすべての避難民を驅逐す  
るよりに命令した。

(十四日バンコック IAFP)

(三) 郵便及び小包交換に關する問題  
既報の本件に關し、ヴェトナム側は「わが休戦提議に同答を與  
えざるフランス当局の不明確な態度に鑑み、ヴェトナム政府は右  
提議を取消すことに決定した」と放送した。ホチミンはさきになら

チオ放送をもつてヴェトナムのあらゆる部分において二十四時間  
の休戦が遵守せられるようにフランス軍当局に要請した。同放送  
は右提議は民主主義フランスに對する同情感及び人類受意圖より  
りホチミンにより発表されたものであると付加していた。  
(十五日ハノイ IAFP)

(四) ダラット経済会議  
顧問ダラット経済会議第二回本会議において佛印政廳公共土木事業  
顧問ロンドンジョウの提議にかかわるインドシナ空港拡充案が可決さ  
れた。右提議はサイゴンのタンソンナット空港及びハイフオンの  
カトビ空港を國際水準に高めんとするものである。同時にカンボ  
ヂヤ代表からもブノンベン及びリアム空港の拡充案が提議され、  
可決された。

(五) トンキン地方におけるフランス軍の勝利  
間、わたり空陸両面作戦を展開し、ヴェトナム軍に多大の損害を  
與えた。フランス軍は、ハイフオン南方六十哩の地点において、十日  
を破壊した。と付加した。  
(十七日ロンドン BBC)



(内) フアン、ユイ、ダン情報、宣傳相辞任  
ウエトナム臨時中央政大統領スアンは同政府情報宣傳相フアン  
ユイ、ダンの辞表を受理した。政府発表によれば同相の辞職はま  
つたく個人の理由に基くものである。前閣僚はその辞職願におい  
て、依然祖國、王、政府、和平及び佛越共同のために微力を盡す  
であるうをを言明した。

(外) 佛越捕虜のため慰問品交換の件  
十五日付の▲、●、□情報はクリスマスの機会に爲さるべき停戦提案  
をホチミン側が取消したこと、決定した旨傳えている。右決定はフ  
ランス軍当局がヴェトミンの提案に対して明確な回答を與えな  
つたため因るものだと言われている。フランス軍当局はヴェト  
ナム正式政府に對する叛乱軍と接洽する意圖を有するものではな  
い。ヴェトミンの停戦提案の動機は、ヴェトナムの独立運動は共産  
党の手中にあるものでないことを、フランス軍はとにかくクリスマス  
に説得せんとあるものではないこと。フランス軍はとにかくクリスマス  
の一日を送るよりに指令した。

(十八日サイゴン AFP) 佛越捕虜のため慰問品交換の件  
佛越捕虜のため慰問品交換の件  
佛越捕虜のため慰問品交換の件

府間の交渉の結果、フランス側のレツドクロスは、佛越双方の捕  
虜のため郵便小包が交換せられるよう代表者の会合を行わん  
とレツド、ヴェトミン側のレツドクロスは、公式放送において、指  
定の会場所におお十字の旗を携行した代表者も派遣すること、指  
定した。なにおお十字の旗を携行した代表者も派遣すること、指  
明した。なにおお十字の旗を携行した代表者も派遣すること、指  
六哩穴の地域におお十字の旗を携行した代表者も派遣すること、指  
レツド、クロス代表ト、タツト、タン博士に對して要望した。

(外) 佛越捕虜のため慰問品交換の件  
員長のラデオ、レツド、クロスは人類愛に基くユアール教授の提案  
ヴェトナム、レツド、クロスは人類愛に基くユアール教授の提案  
に賛同するものであると付け加えた。

(内) カンボディアの獨立祝典内における盛大に行われた。ノロドム  
カンボディアの首都プノンペンにおいて盛大に行われた。ノロドム  
カンボディアの首都プノンペンにおいて盛大に行われた。ノロドム  
最大の満足であると強調した。現下の困難な情勢下に拘らずカンボ  
ディアの理想に忠実であつた。二十日ブノンペンに對し敬意を表した。



(出) 南部佛印における衝突  
 サイゴン南方約二百五十軒の地点駐屯のフランス軍は、ヴェ  
 トミン軍の大規模の攻撃を受けたが、援軍の来著りつて叛乱軍を  
 撃退した。フランス軍当局のコンミンユニケによれば、一万三千の  
 手榴弾、五百の砲弾、三百斤の火薬等を獲した。フランス軍の  
 コンミンユニケはかかるヴェトミン軍の敗退は最近傳えられる同軍  
 の軍紀弛緩及び士氣不振を裏書きするものであると付け加えた。

(二十日サイゴン通信)

(出) トンキンにおける華僑を一巡したハノイ駐在中國總領事蔣錫齡  
 ランス支配地区の華僑を一巡したハノイ駐在中國總領事蔣錫齡  
 ハ音沢)はトンキンにおけるフランス当局との關係はまことに満足で  
 人と彼等を管理してゐるフランス当局との關係はまことに満足で  
 ある。とAFP記者に語つた。蔣總領事は十月以來祝祭旅行を続  
 けており、來年初めラオスに赴く豫定である。なお蔣總領事はヴ  
 エトミン支配地区の華僑訪問の可能をも期待してゐる。

(二十三日ハノイAFP)

(出) スアン大統領の渡歐  
 ヴエトナム宣辺の語るところによれば、ヴェトナム臨時中央政  
 府大統領スアン將軍は、バオダイ帝秘書により、同帝の希望によ  
 りできる限り速かに渡佛するよう要請せる電報を受取り、一月始  
 めに訪歐する豫定である。スアン大統領の留守中問題となるべき  
 諸件が二十二日の閣議で討論された。

(二十三日ハノイAFP)

インドオシア  
 (出) 米國務次官の蘭イ蘭  
 ロベツト米國務次官はワシントン記者会見においてオランダ閣  
 僚代表團がインドオシアからヘイグに帰還したこと、蘭イ蘭の  
 決裂を意味するものではあるまいと語つた。二十日オーストラ  
 リア(出) 蘭イ父打切りと一時連邦樹立  
 (出) 蘭イ父打切りと一時連邦樹立  
 シア共和政府の交渉を打ち切り、同共和政府以外の全一地域に對する  
 臨時連邦設立工作を推進するに決した。またバタヴィアのオラ  
 ンダ代表團は、連邦委員会对し、共和政府の見解が根本的變更を  
 見ぬ限り、三分の二を占める今後オランダは共和政府を除く全一  
 政府樹立を推進するに決した。通信は共和政府が共和政府を  
 一方バタヴィアの共和政府に結ぶ通信は共和政府が共和政府を  
 際く中間政府の設立は、結果を招くであろうとの警告を發  
 したと報じている。十一日、ハグ(AFP)

員としてインドオシア共和政府の共和政府に結ぶ通信は共和政府が共和政府を  
 考え方か勝利を待たぬもので、オランダ代表が同ラプストン会議











（一）新政府成立の勅令  
 オランダ政府は十八日勅令の内容につき次の点を明かにした。  
 一、インドネシアの内政は、イ人の組織する諸機関に委任される。  
 二、右機関は選挙された代表によつて構成される。  
 三、オランダの王権を代表し、イ連邦諸機関と協力するオランダ代表は全インド防軍に對する最高指揮権を有し、必要と認められた際には全防軍を一司令官の指揮下に統一する権限を有する。（十八日ヘーグ、A.P.）

（二）蘭軍イ首都を占領  
 オランダ軍十九日の発表によればオランダ軍浴下軍部隊はイ共和首都ジョクジャカルタを占領し、スカルノ大統領、ハツタ首相、サリム外相、シヤリル元首相を逮捕拘禁した。また共和空軍司令スリアダルマ將軍も、共和空軍連営委員会委員長以下多勢の分子と共に拘禁された。（十九日バタヴィア、A.P.）

（三）不穏分子の侵入に對抗  
 オランダイツカイ外相は十九日軍事行動にいたる交渉経過を次の通り発表した。  
 一、共和國は以前から中央集権國家樹立を企圖し、イ台派國の正式成立までの期間オランダの主権を承認することを拒否し、自國軍隊の維持を拒否して来た。この点に關し、ハツタ首相は去る十日賞書を出し、新提案を行ひ、この提案に依り協定に達し得る希望が存してゐたのであるか、この希望はその後における共和國側の不信により消去した。また共和國軍隊の兵力に對してはハツタ首相

相は、あるいは二十万あるいは三十万と述べ言を左右にしていた。ついでハツタ首相が國內の支持を失ひ、事態收拾困難が明白となる。共和國不穏分子がオランダ領インドネシアに不法侵入をなした。國境紛争を引きおこすに、およんでオランダ政府は逐次軍事行動に出ることを余儀なくされたものである。なお軍事行動は二、三日中終了することと思ふ。又個人の見解として、今回の態度にも十九日、ハイグ、A.P.）

（四）スマトラにも進軍  
 オランダ軍はジャワ各地に進撃した外スマトラ北東部のアサハン地方にも進出し、スマトラ中部でも境界線數カ所を突破した。（十九日バタヴィア、A.P.）

（五）ゲリラ戦線続  
 バリ駐在インドネシア代表は新聞発表を行い、蘭イ兩軍の戦闘兵力をオランダ軍十三万共和國軍二十五万と推測した。「大都市が占領されても大規模のゲリラ活動がつづく以上、ジャワ島の戦闘は終るはずがない。スマトラの情勢は一層インドネシア側に有利だとの見解が述べられてゐる。なお、キヤンベラ情報によれば、同地のインドネシア代表ウスマンは蘭軍の攻撃開始が東南アジア全体におよぼす重大な影響とスマトラのゲリラ戦の重要性を述べ、安條理事會を全世界の良主國家の介入せんことを訴へてゐる。（十九日、バリ、A.P.）



(三十一) 米、事態を重視  
 インドネシアの新事態について米國務省筋では問題が國連の手  
 にあるとして論評を差控えていた。十九日は日曜にも拘らず登壇  
 して事態の推移を詳細に解説していた。(十九日ワシントン A P)

(三十二) 國連委員米代表辭職  
 日政府の軍事行動開始に抗議する意味で十九日辭職した。(十九  
 日ワシントン A P)

(三十三) オランダの共和非難  
 オランダ高等弁務官はバタヴィアからラジオ放送をもつてイン  
 ドネシアに於ける停戦状態停止を宣言し、今回の行動は共和國の  
 不法テロ攻撃を目的とするとなし、オランダ陸海空各軍部隊に  
 対し共和國領域に侵入せざることを及ぼし不法行為を排除して正義と  
 安定を維持するよう命令したと述べた。

ハグのオランダ政府は、若し共和國がオランダ連合内のイン  
 ドネシア合衆國に主権が譲渡されるまでの期間におけるオランダ  
 國王代表の地位等に就する留保をなしたならば、オランダ側  
 は一般政治問題につき会談を再開する考えであつたが遂にかかる  
 声明を共和國側から得ることが出来なかつた。インドネシア共和  
 國はその領域外で大規模な行動を起す準備をしていたことが明で  
 あつた。共和國軍司令官は数千の軍隊に非共和國領域侵入を命令  
 し、各地でオランダ非難副官を攻撃し、過去数カ月間に三百以上

(三十四) 捕虜は成るべく早く釈放  
 オランダ弁務官ペールは十九日新報記者会見で、捕虜された共  
 和指導者はその地位にふさわしい待遇を受け、共和國軍の捕虜  
 は自分の捕虜として武装解除されるが、できる限り早く生業に  
 復帰する市民として釈放されるであろうと述べた。(十九日バタ  
 ヴィア A P)

(三十五) 非共和國領域の動向  
 オランダの行動開始の直後東インドネシア内閣は、対蘭抗議  
 の意味で辭職し、又四ジャワ國首相も辭職した。(十九日マカ  
 ツサル A P)

(三十六) インド、パキスタン両國台同會議は、十九日動議を可決し、イ  
 ンドネシア支持の態度を明にした。(十九日カンジナガール A P)

(三十七) 安安保理學會緊急會議  
 安安保理學會はインドネシア問題緊急會議のため二十日午前十時  
 特別會議を開催することになつた。  
 特別會議は、米代表の要請にもとずき臨時議長事務局長  
 石特別會議は、米代表の要請にもとずき臨時議長事務局長  
 によりなされたものである。オーストラリア代表は米代表の動議  
 を支援した。(十九日、パリ A P)

(三十八) 比島人はオランダの警察行動を非常に遺憾としオランダの行動  
 は無意識の中に東南アジアにおける共産黨の宣傳を助長するもの  
 であるとみている。(十九日、マニラ A P)

の殺害事件を起してゐる。オランダ軍行動は建設的政策的実施を  
 不可能とする不法分子の排除を目的とする警察行動に過ぎない。  
 以上の如く弁明し、共和国が臨時連邦政府に加入し得る余地は今  
 後も残して置くべき旨づけ加えてゐる。(十九日ロンドンBBC)  
 安理理事会は二十日インドネシアを非難  
 つたが同報告はオランダが今回の行動で休戦協定に違反したもの  
 であるとして理事会の事態の早急審議を要求してゐる。  
 ステツカー、オランダ外相はインドネシアにおけるオランダの  
 行動を正当化する文書と証詞を理事会に提出すべき旨声明した。  
 (二十日ニューヨークR)

三十三  
 シンガポール報によればスカルノ外インドネシア無人救出を企  
 てたインド、ダコト機はオーストラリア人の操縦にかかると  
 あつたがオランダ側は同機をバタヴィアにおいて故意に墜落せし  
 めるよう計つたとみられてゐる。なお共和国はインドに亡命政  
 府の設立を試みるものと信じてゐる。(二十日シドニーR)

三十四  
 アラブ連盟はインドネシア支持の旨声明し、全アラブ人に對し  
 オランダ発表の声明を信用せざることを指示し、またアラブ代表  
 に對し安理理事会のイ間論議の際にはインドネシアを支持すべき  
 旨要請した。(二十日シドニーR)

三十五  
 バタヴィアに於けるオランダ軍当局は大規模の軍行動は二日間  
 に終了したかとい人のゲリラ戦を完全に崩壊するには至らず、要  
 するだるりと考へてゐる。(二十日オーストラリアR)

三十六  
 テリイに於けるインドネシア情報局は共和国指導者の逮捕とジ  
 ヨクジャの陥落は共和国の胸奥深く根を下してゐる。アジアの民  
 衆はインドネシアに平和愛好の植民地主義の復活が平和に於ける脅威  
 であり、インドネシアの平和愛好の民衆に對する洗脳であることを知つ  
 て、インドネシア人を支持することを知つた。  
 (二十日テリイR)

三十七  
 臨時軍政府設立  
 オランダ植民地はインドネシア共和国首府ジョクジャに臨時軍  
 政府を設立した旨発表もた。(二十日オーストラリアR)

の殺害事件を起してゐる。オランダ軍行動は建設的政策的実施を  
 不可能とする不法分子の排除を目的とする警察行動に過ぎない。  
 以上の如く弁明し、共和国が臨時連邦政府に加入し得る余地は今  
 後も残して置くべき旨づけ加えてゐる。(十九日ロンドンBBC)  
 安理理事会は二十日インドネシアを非難  
 つたが同報告はオランダが今回の行動で休戦協定に違反したもの  
 であるとして理事会の事態の早急審議を要求してゐる。  
 ステツカー、オランダ外相はインドネシアにおけるオランダの  
 行動を正当化する文書と証詞を理事会に提出すべき旨声明した。  
 (二十日ニューヨークR)

三十三  
 シンガポール報によればスカルノ外インドネシア無人救出を企  
 てたインド、ダコト機はオーストラリア人の操縦にかかると  
 あつたがオランダ側は同機をバタヴィアにおいて故意に墜落せし  
 めるよう計つたとみられてゐる。なお共和国はインドに亡命政  
 府の設立を試みるものと信じてゐる。(二十日シドニーR)

三十四  
 アラブ連盟はインドネシア支持の旨声明し、全アラブ人に對し  
 オランダ発表の声明を信用せざることを指示し、またアラブ代表  
 に對し安理理事会のイ間論議の際にはインドネシアを支持すべき  
 旨要請した。(二十日シドニーR)

三十五  
 バタヴィアに於けるオランダ軍当局は大規模の軍行動は二日間  
 に終了したかとい人のゲリラ戦を完全に崩壊するには至らず、要  
 するだるりと考へてゐる。(二十日オーストラリアR)

三十六  
 テリイに於けるインドネシア情報局は共和国指導者の逮捕とジ  
 ヨクジャの陥落は共和国の胸奥深く根を下してゐる。アジアの民  
 衆はインドネシアに平和愛好の植民地主義の復活が平和に於ける脅威  
 であり、インドネシアの平和愛好の民衆に對する洗脳であることを知つ  
 て、インドネシア人を支持することを知つた。  
 (二十日テリイR)

三十七  
 臨時軍政府設立  
 オランダ植民地はインドネシア共和国首府ジョクジャに臨時軍  
 政府を設立した旨発表もた。(二十日オーストラリアR)



オランダの専断に無慮でなつてはならぬと警告した。

オランダ外相スチッカーは二十日アメリカ向ラジオ放送をもつてオランダの立場を説明し、オランダはインドネシアの自由を崩壊せしめんとするものでなく、平和と安定の確保を期するものであるが、共和主義にせいちゅうされて無力となつていと述べた。

オーストラリアの態度 (二十日ロンドン B B C)

オーストラリアの官邸はオランダのインドネシアにおける行動はさきに安保理事会の発出した停戦命令違反だとの意見を表明した。

米蘭協約省の態度

米蘭協約省は深甚の注意をもつてインドネシアの事態を注視して行動をも憎む旨述べた。

オランダの国内問題は代表記者団にこれに介入する権限はないと断り、オランダの意向は自由且つ民主的に入ると述べた。

英女依理事會の延期

二十日安保理事会緊急会談において十一理事國中八代表が二日の会談を二十日まで延期する方針に賛成した。

代表記者から要請するものと報告せられた。

二十日ニューヨーク

0284



ミマライ

(一) アジア極東経済委員会  
ラブストンに開かれていた國連アジア極東経済委員会第四回大  
会は十一日閉会。同時に同委員会は國連総会の決定をまつて上海  
からシンガポールに移されるであらうと発表した。次期大会は明年五月の予定であつたが九月か十月に開催に延期  
（十一日シンドニー A P）

(二) 中国人射殺される  
英当局公報によれば英軍に逮捕された二十六名の中国人は逃走  
を企てたため射殺された。（十三日シンガポール U P）

(三) テロ團の暴状  
マライ、セランゴール州北部における最近の掃討戦で五三名の  
共匪が射殺された。

他の地方においては、テロ團が学校その他十二の民家に放火し、  
中国人男女二名を惨殺した。（十三日ロンドン B B C）

十四日バハン州において中国人テロ團は輸送車隊の英人下士官  
を射殺した。

同下士官はマライに配属されたバレスカイン警察隊員中テロ團  
により惨殺された三人目の犠牲者である。

また、マオラ、ラムボ北方でヨーロッパ人教師が惨殺された。

(四) 英政府のマライ政策  
英植民次官はマライ政策に關し次の通り語つた。

マライ政策はマライの治安を安んずりよつて阻害されてい  
る。政府はまずマライの治安を安んずりよつて阻害されてい  
る。

計画を興行に移すことを考へてゐる。上級経済、社会、教育各  
英政府は現在までの七百方ポンドの軍事費を負担し、かつ衛  
三、五百方ポンドの自由借款をマライに供與せんとしている。既  
に五百方ポンドが植民地開発案によりマライ政府に供與し百万ポ  
ンドを大学施設費として割当てた他に科学調査および警察改良に  
關する計画を有している。

(十六日ロンドン B B C)

内マライ政府の戦災補助  
マライ連邦政府はテロ團によつて不具となつたものおよび死亡  
者の遺族に対し補助金を支給するを立て連邦立法參事会に提出の予定  
である。

(十六日ロンドン B B C)

西比島人の再建努力。  
 過去二ヶ年、西比島マツキンレー司令部長官として在任中インドネシア、日本、中国、東南アジア各地の巡視、軍事、事情視察の機会を得たが、ユリッピン、L、ユリッパンク少将は今回内地巡視のため席を空けておられると語った。  
 (二十日ワシントンUP)

ユリッピンの掃討  
 四務長官ソテロ、バルユットの声明によれば政府軍は中部ルソン米作地帯におけるフク、ゲリラ部隊を掃討し、南方シエラ、マドル山嶽地帯に逃走せしめた。  
 十三日マニラ AP  
 比島政府の戦犯裁判方針  
 比島政府は十四日閣議において東京の戦犯裁判に対する比島政府の方針を協議した。  
 右は比島はさきに閣議上の都合により、今後日本の戦犯裁判に對し代表者を参加せしめない旨決定していたが、在米ロムロ大使より府來極東委員会において戦犯裁判の問題が討論されるであろうとの予備をもつて本國政府の態度を商會して來たことによる。  
 十五日マニラ UP  
 比島政府は本日中国からの避難民の比島入國制限を緩和するに決した。政府は従來友好條約締結國の國民のみ入國を許可したが、今回、スイス、オーストラリア、チェッコ等諸國時在外交官の要請に基き、キリノ大船は前記制限を緩和の措置をとつたのである。  
 中東からの避難民は激増しつつあり、船便、航空便共毎朝これ等避難である。  
 十五日マニラ AP



五 シヤム

(一) シヤム米対日割当  
 國際緊急食糧委員会の米穀分科委員会は十四日世界の米輸入割当を決定したか権威筋の語るところによれば米穀分科委員会はかねて總司令部から提出してあつたシヤム米二十万トンの積出許可要請を拒否し、その代りに他の國の需要しない三等品のモチ米五万トンの日本向積出を承認したといわれる。  
 (十四日ワシントンA.P.)

(二) 通商協定正式成立

シヤム政府と最高司令官は日本とシヤムとの間で成立した六千万ドルの貿易協定を正式に承認した。今回の協定により約七百万ドルの車りようをシヤムに積出す最初の契約が成立した。今後兩國間の交易はドル建てで行われる、支拂はシヤム日本オIブン・アカウントを通ずることになつている。  
 十五日總司令部渉外局発表

(三) 中共進出のシヤムに対する影響

過般のビブーンイマグドナルド会谈の際中共軍優勢のことが討議されたか、シヤム警察は中共軍が南京を陥落する如き際、シヤムにある三万人の中共系華僑が示威運動をしなければいかといふ点をおそれている。

なおバンコック市場の金円は〇・四六バツに低落した。  
 (十五日バンコックA.F.P.)

(四) 第五列部隊の潜入か

シヤム新聞によれば首府北方八十マイルのロブリ市附近で落下傘が発見され、第五列か落下傘によつて潜入したものと考えられている。  
 (十六日バンコックA.F.P.)

(五) バンコック及びジョクジャカルタ間に定期航空路開設

シヤム、バンコック、及びジョクジャカルタ間に定期航空路が近くシヤムに開設される旨発表された。

オランダ政府はバタヴィヤに着陸した際税関検査を行う旨の條件でこれに承認を與えた。(十六日ニューヨークR.)

(六) 武器密輸検査

シヤム海軍巡視隊は三名の中國人か機関銃、手榴弾等を積んだジープをラヨン附近に走らせているのを逮捕した。武器は附近密航の外國船から密に卸したものと解されている。  
 (十六日バンコックA.F.P.)

シヤム政府は十六日約百種類のシヤム品に對して嚴重な輸入統制措置をとり、その輸入は予め貿易局の輸入許可を受けることか必要となつた。





一名を捕した。(一十八日バンコック、AFP)

シヤム政府は南シヤムに於いてマライから流入するゲリラ分  
子を逮捕するに便するため明年二月から同地方住民の身分証明  
書携帯を強制することに決した。(十八日バンコック、AFP)

中シヤム華僑中進出に關心  
を共進の進出は、シヤム在住五百万の華僑特に中國に本支店  
を持つ華商の深甚の注意をひいており、中國内戦により、バン  
コック華商の商賈は撤退して來たので、バンコック華僑銀行は  
華商援助の指令を南京から受けていた。しかし、實際は銀行も  
必要を援助の全部はなし得ない状況だ。(二十日バンコック、AFP)

シヤムとオーストラリア間  
シヤムとオーストラリア間、通商協定か、締結される  
旨、極東経済会議シヤム使節團長から発表された。締結される  
得る右協定でシヤムはオーストラリアから機械及び運轉資材を獲  
得するであろう。

この中には、自動車、自動自転車、化粧品、果実、石油、セメン  
ト、雜誌その他の保存糧食品、十六日バンコック、ロイター  
米穀万科委員にシヤム側の対日、米穀供給案を提出したシヤ  
ム代表カムブーは十七日委員会の決定に満足の意を表した。明  
年日本にシヤム米数十万トンの供給を希望する旨語つた。(明  
年七月ワシントン、AFP)

シヤムの移入民制限  
シヤムの次年度における移入民制当は各國人とも二百名に制  
限するに決した。  
政府の要請を拒絶した。(十七日オーストラリア、R)

國際緊急食糧委員会は明年前半六カ月間のシヤム米輸出制当  
(ビルマ七十七万六千トン、エジプト二十五万トン、アメリカ  
八万八千トン)を四十六万四千トンと決定した。(十七日ワシントン、AFP)

出南シヤムの騒動  
南シヤム・シンゴラ附近において、マライ地区から流入した  
約十五名のゲリラ團は警察巡視隊と衝突し、警官死亡及び負傷各